

清陵同窓会報

自反而縮雖千萬人吾往矣

第 52 号 発行：諏訪清陵高校同窓会

発行人：同窓会長 今井竜五

編集担当：第 93 回生（昭和 62 年入学）

同窓会事務局：〒 392-8548 長野県諏訪市清水 1-10-1 TEL：0266-58-0356

特集 GLOBAL

創立
130
周年記念号



GLOCAL

Global に考え、Local に活動する

諏訪清陵高校同窓会 令和8年度(2026) 創立130周年記念 **定期総会**

6.27 SAT

会場：ホテル紅や

13:30 ～ 議事 令和7年度会務・会計・監査報告
令和8年度事業計画・予算案審議
130周年記念事業実行委員会会計中間報告 など

参加無料・配信あり

14:15 ～ 93回生企画・パネルディスカッション

参加無料・配信あり

15:30 ～ 懇親会 乾杯・歓談・校歌 (～17:30 予定)

対面のみ

参加費：10,000円 / 109回生～(39才以下) 5,000円

詳細・参加申し込みは、専用サイトをご覧ください

お問い合わせ

同窓会事務局 0266-58-0356

幹事 93回生 / 次年度幹事 94回生 / サブ幹事 103回生・113回生

幹事 E-mail : suwaseiryo93@gmail.com



専用サイト

93 回生企画・パネルディスカッション

GLOCAL

世界の視点で、私たちの街を地域を動かす
「グローバル」に生きるヒントを探る対談

情報が瞬時に世界を駆け巡る今、遠く離れた国の出来事やトレンドは、私たちの日常と密接に繋がっています。Global（地球規模）に考え、Local（地域）に行動する。言葉では聞くけれど、私たちの暮らしや仕事にどう落とし込めばいいのでしょうか？ 本対談では、「Glocal」を体現するゲストをお迎えし、世界の広い視野を持ちながら、足元の地域で具体的なアクションを起こすためのヒントを紐解きます。

パネリスト & モデレーター



柳澤 寿男 (93 回生)

下諏訪町出身。パリ・エコール・ノルマル音楽院オーケストラ指揮科に学ぶ。2007 年、国連コソボ暫定行政ミッション下のコソボフィル首席指揮者に就任。同年、民族融和オーケストラ・バルカン室内管弦楽団を設立し、音楽総監督を務める。2019 年、コソボ大統領勲章受勲。2024 年、日本国外務大臣表彰。2026 年より、東京大学大学院総合文化研究科在籍。



降幡 順子 (93 回生)

岡谷市出身。京都国立博物館の学芸部上席研究員兼保存科学室長。奈良女子大学大学院で物理学を、京都大学大学院で文化・地域環境学を専攻。奈良文化財研究所の主任研究員を経て、2017 年より現職。専門は文化財保存科学で、文化財の材質や仏像の転倒防止等の研究を通じ、文化財をよりよい状態で後世に継承するための活動を行っている。



今井 拓 (93 回生)

茅野市出身。山口大学医学部卒業。東京女子医科大学で研修後、2006 年より諏訪中央病院勤務。現在、諏訪中央病院組合・統括院長。カテーテル治療を中心とした急性期医療に携わる一方、地域の高齢化と人口減少を見据え、医療・介護・福祉を一体的に支える体制づくりに取り組んでいる。福祉 21 ちの副代表幹事、茅野市 DX 推進協議会理事。



小原 宏文 (93 回生)

岡谷市出身。東京農大学生物産業学部卒業後、北海道で自然環境調査に専念。U ターン後、県内外の生活環境調査に従事。2006 年、NPO 法人霧ヶ峰基金に参加。平日はサラリーマン、週末は NPO 活動として八島湿原のモニタリング調査・エコツアーを実施。2010 年に環境大臣表彰（第 6 回エコツーリズム大賞特別賞）。技術士環境部門（自然環境保全）。



城取 英紀 (93 回生) モデレーター

岡谷市出身。信越放送・情報センター付部長（デジタル担当）。明治大学法学部法律学科卒。1995 年、信越放送株式会社入社。報道部に配属され、記者として、事件・事故、災害、政治、スポーツなど、県内のニュースを多岐にわたって取材。長野本社、諏訪放送局、東京支社に勤務。報道部長、制作部長を経て、2025 年より現職。



ここからまた 力強い歩みを

同窓会長 今井 竜五 (74 回生)

同窓生の皆様並びに関係各位におかれましては、日頃より同窓会の活動に深いご理解と多大なご支援を賜り心より厚く御礼申し上げます。

私達の母校はご承知の通り一昨年度が附属中学校創立10周年、昨年度が諏訪清陵高校創立130周年の大きな節目の時を迎えました。そのため同窓会ではこの周年を記念した様々な事業を学校、PTAと一体となった実行委員会で行っています。一昨年の11月9日には、附属中学校創立10周年記念式典などが執り行われ、生徒主体の企画運営でしたが内容のある立派なものでした。昨年の10月18日には旧制諏訪中学校・諏訪清陵高校創立130周年記念式典、記念講演会、記念祝賀会を執り行いました。講演会の講師は岩本敏男氏(74回生、元NTTデータ社長)をお願いし、式典と講演会は現役中高生を主体にして式典は厳かに、講演会は生徒たちが熱心に聞き入っていました。夜には場所をホテル紅やに移して祝賀会を開催しました。記念式典等を挙行出来たことを関係の皆様にも深く感謝するとともに、母校のさらなる充実発展のために私達同窓会がより一層の尽力をすべく思いを新たにしたいと考えています。

大きな記念事業の一つである学校教育環境整備事業の清陵会館(同窓会館)の改修事業は、長寿命化のための外装改修(屋根・外壁)、トイレの洋式化、会議室の机と椅子の入替を施工するものですが、本年3月に着工しておりますので、この会報が皆様へ届く頃には竣工を迎えておりますので、是非とも改装された会館をご覧いただきたいと思っております。

また、もう一つの同窓会活動のDX推進事業につきましては、昨年11月に事務局体制を強化するために新たな事務局長と新設したDX担当事務局長が就任し、同窓会名簿

を利用したデジタルネットワーク化を今後、鋭意進めて参ります。そのために同窓生の皆様にはオンライン名簿への登録をお願いいたします。方法等が不明な方は同窓会事務局へお問い合わせください。

そして、この130周年記念事業の実行や実現を支援する浄財をご寄付いただいている多くの同窓生の皆様に深く感謝を申し上げます。

同窓会には諏訪地区の6支部のほか、上伊那、北信、松本、東京、東海、関西の12支部があり、同窓会長として各支部総会に出席しています。各地域で活躍している同窓生にお目にかかり母校が育んだ人材の凄さと層の厚さ、そして母校への深い想いを再認識しています。このような人材の力を現役生の部活動や学友会活動・課題研究、進学・就職の相談などの活動に、また同窓生相互の仕事や事業など様々な分野での連携や交流に活用できないものかと考えています。DX推進事業で行っている同窓会名簿等のデジタルネットワーク化がその有効な手段になることを期待しています。

本会報には、学年会通信が掲載されており各学年の様々な交流を楽しく拝見しております。学年会と同じ時間と思いい出を共有する仲間としての大きな結束力があり、同窓会活動の一翼を担う活動主体であります。それぞれの学年会の活動が長く続くことを、また全ての会員各位のご健勝を祈っております。

3月の本校の入試結果(後期選抜)は、定員161人に対し合格者151名と10名の定員割れとなりました。この4月からの私立高校授業料の無償化などの影響が指摘されていますが、今大きな岐路に立っていることは間違いありません。進学先として選ばれるための努力が必要です。繰り返しますが、母校諏訪清陵高校が生き残り、そして輝き続けるためには、長い歴史や積み重ねた伝統を礎として、今以上の特色や強みを持ち、それに一層の磨きをかけることが求められます。多様で層の厚い人材と実績を持つ私達の同窓会です。同窓生の皆様には、母校の充実発展のため、また頑張っている生徒の皆さんや校長先生はじめ先生方のため積極的に強力な応援を心からお願いいたします。

100th
Since 1926

SWATEC

美しい未来環境を創る

スワテック建設株式会社

〒392-0017 長野県諏訪市城南二丁目2353番地

Tel. 0266-52-4343 Fax. 0266-52-4347



創刊125年

地域と
歩み続けます

統合(諏訪)版 月額 3,480円(税込)

ご購読のお申し込み 0120-972-240



次の130年に向かって

校長 倉澤 克弥 (89 回生)

同窓会の皆様におかれましては、日頃から本校の生徒たちのために物心両面からの多大なるご支援を賜り、学校を代表して心から感謝申し上げます。

昨年度本校は創立 130 周年の年を迎え、10 月 18 日に本校を会場に記念式典と記念講演会を実施しました。4 月の段階で両行事の内容は全く決まっていなかったのですが、5 月に希望生徒 27 名で立ち上げた「記念行事生徒実行委員会」が十二分に機能し、当日の式典の司会進行と記念講演会の企画、運営を務めてくれました。特に、本校 74 回生で元 NTT データ代表取締役社長の岩本敏男様を講師としてお迎えしての記念講演会においては、実行委員の生徒たちが事前に岩本様の 4 冊の著書を回し読みした上で講演のテーマを自分たちで決め、更に「その講演の内容に基づいた、岩本様と出席者全員で交流できるイベントを実施したい」と時間をかけて計画を練っていました。私にはイベントの内容を講演会当日まで一切教えていただけなかったので、少しヒヤヒヤしていましたが、終わってみれば全くの

杞憂でした。明治の時代から本校に宿る「自治」の校風と、現在の清陵生の逞しさを改めて感じることができる貴重な記念行事となりました。ただ一点、会場の都合により、すべての同窓会の皆様にご案内を差し上げることができなかったことが心残りです。

さて、本校では、4 月 6 日に高校 234 名、附属中学校 80 名の新入生を迎え、次の 130 年に向かってまた新しい清陵の 1 年を積み上げられる喜びを胸に、一步踏み出したところです。今年度からの私立高校授業料実質無償化の影響があるのでしょうか、数年ぶりの定員割れでのスタートとなり、皆様からのご心配の声をいただいておりますが、諏訪清陵らしく「言い訳」や「できない理由」を考えるのではなく、これからできることを考え、工夫しながら前へ前へと進んでまいります。今年度 24 年目を迎えるスーパーサイエンスハイスクール (SSH) 事業は自走による学びに挑戦する「認定枠」での指定の 3 年目となります。生徒たちがお互いに切磋琢磨しながら勉学に励み、学友会活動や部活動等に積極的に取り組む中で、知性と人柄を磨き、人格の向上を図るという学校教育の基本の部分大切にしつつ、他校ではできない SSH による新しく高度で探究的な学びの実現に挑戦してまいりたく存じますので、引き続きご支援の程、何卒よろしくお願いいたします。



ご宿泊・日帰り宴会
企業周年事業等
各種承ります





HOTEL BENIYA

TEL:0266-57-1111 〒392-8577 長野県諏訪市湖岸通り2-7-21

詳しくは、  



大人のための隠れ家フレンチ

bistro sol

オーナーシェフ 藤森 浩伸 (100回生)

個室あります接待にもどうぞ

諏訪市大手 2-15-4
TEL 0266-55-2299



Instagram



未来を、超えていく。
Transcend the Future





株式会社 ミスズ工業
MISUZU INDUSTRIES CORPORATION

代表取締役会長 山崎 泰三 (83回生)

代表取締役社長 山崎 誠太郎 (110回生)

執行役員 山崎 慎二郎 (112回生)

営業企画部 山崎 正三郎 (114回生)





信州山麓

55歳になった自分が、日々の行動の根底に考えていることに「人が心身共に健康で働けること自体が実は大きな福利厚生ではないだろうか?」と言った考えがあります。ウェルビーイングの考えにも重なります。また出来る限り雇用を創り出したい思いがあります。人が社会の中で安心して働くことが出来て誰かの役に立っている達成感や充実感を得られ、多様な個性が平和で幸せに暮らせる社会であることを常に願っています。

実際にはそう簡単なことではないと、これをお読みになっている方はご存知でしょう。

現在の私自身は精神科医として諏訪メンタルクリニックを開業運営しています。同時に、信州山麓と言う屋号の個人事業から発展させた法人である信州山麓株式会社を運営しています。会社では福祉事業としてB型就労継続支援事業所を2か所運営しています。より多くの人々が働く事を通して社会に参加できる場所を作りたい。その一心で事業所を運営しています。具体的には「信州山麓保護猫

カフェ」「信州山麓カフェテラス」と言う事業所になります。

ここで一つクイズを出してみます。信州山麓株式会社の社名の中に含まれる「山麓」の対義語をご存知でしょうか。多くの方にお聞きしてみましたが、意外に知らないものと分かりました。答えは「山頂」です。

人は自らの心の中に何らかの夢や希望を持っているものだと思います。「芙蓉峰頭一点の理想の花の咲かむまで」は、決して高尚な理想を持った人だけの話ではなく、生きとし生ける誰しもが日々の中にも夢や希望を持ち、それを「山頂」とするなら、常に我々はそれを目指して「山麓」を歩み続ける存在なのだと思います。

現代は、ネットを通してグローバルに世界中の様々な情報を得られる社会になっています。「情報強者」が社会を制すると言った見方もありますが、これだ

丸山 一仁
(93 回生)

諏訪メンタルクリニック院長



信州山麓カフェテラス

け溢れた情報があるのなら、その中から必要な情報を取捨選択し、適切な判断が出来る「判断強者」が求められる時代になってきていると感じます。その判断力と言うものは、一朝一夕に身に付くものではなく、地道な経験を重ね、試行錯誤しながらも常に行動し続けることから得られるものではないかと考えます。弛まぬ努力、探究心を持ち、自らが判断を繰り返して得られる力なのだと思います。

ローカルな地域社会の片隅からでも「此の世をさます床虫」に少しでもなればと思って日々行動しています。思えば自分が高校生の時から根底は何も変わっていないと感じます。語るに尽きませんが字数の関係も考えこの辺で筆を置きたいと思います。



諏訪メンタルクリニック

「むずかしい」は
「楽しい」!!

小中高生対象の学習塾 学び舎 Planus

茅野市玉川8509-1 / TEL: 0266-79-7625

代表 村上陽一 (93回生)

SAM'S BAR TOKYO

代表 山内 敏正 (93回生)

東京都渋谷区円山町25-7
ファザーランド渋谷Ⅲ 4F
TEL: 050-1470-4388

©SAMSBAR TOKYO



諏訪の湖で星を仰ぐ

河西美奈子

(93 回生)

高校図書館司書



始まりは足元から

「最強寒波到来」と報道された今年 1 月末の日曜日の朝、御渡り観測を見学に行くと、100 人を超す見物客でした。結果は今年も「明けの海」でしたが、八剱神社の宮司さんや氏子の皆さんをはじめ、諏訪の方々の独特な熱を感じました。

私は諏訪市の図書館や高校図書館で司書をしながら、2016 年の御柱年から「諏訪の文化と自然を伝える紙芝居」シリーズや絵本『諏訪の龍神さま』などを作成してきました。きっかけは、御柱について子供たちに話すのに良い本がないかと問われたことです。

図書館の貴重な資料と、諏訪の文化を伝えたい方を結ぶものを考えた時、コスト面でも手が届きそうだったのが紙芝居でした。文章・構成を私が担当し、イラストやレイアウトを同じ地区に住む 89 回生の小平陽子さんが、事務方を高橋栄子さんが担ってくださり、〈スワンプロジェクト〉が発足しました。身近な所で一緒に作品を作る先輩や仲間の皆さんに出会えたことは、大変幸せなことで

した。

『諏訪の御柱祭』の紙芝居は、博物館の学芸員にお話を伺い、資料を調べ、使用許可を取り、1 年かけて完成させました。2 作目もリクエストから『御渡り』の紙芝居となりました。八剱神社の宮坂清宮司のお話が大変面白く、『霧ヶ峰』『手なが足なが』『諏訪の殿さま』『八ヶ岳』といった紙芝居のシリーズに繋がりました。子育て中の親で構成した小さな集団が、長野県の元気づくり支援金を取得したことは珍しいと思います。小平さんのご縁から、地域資料を基にした『諏訪の龍神さま』の絵本にも携わることができました。

世界のどこからでも、星は見える

地域調査に出ると、自分の住む身近なところですら、知らないことが多いのに驚きます。

自分の無知を自覚したのは、清陵高校時代でした。理系にまるで興味の無かった私を、流星観測に誘いだしたのが担任で地学教師の金子佳正先生でした。人間が算出した日時に、本当に星が流れる驚

き！ 周囲の清陵生や天文気象部仲間の知識の豊富さに打ちのめされました。科学知識の穴を埋めたくて、広島大学総合科学部で理転を試みましたが、結局専門家になれませんでした。科学への回り道が、司書になった今活きているとも感じます。

諏訪の歴史を調べると、鎌倉や江戸時代などの日本の歴史を認識したり、「外から見た諏訪の文化」について気になります。諏訪（点）からも、少し広い世界を想像することができると思います。また、フィールドワークでは様々な場所で楽しく研究している同窓生や地域の皆さんに出会います。史学、科学、音楽、美術…。そこには今井登志喜、三澤勝衛、



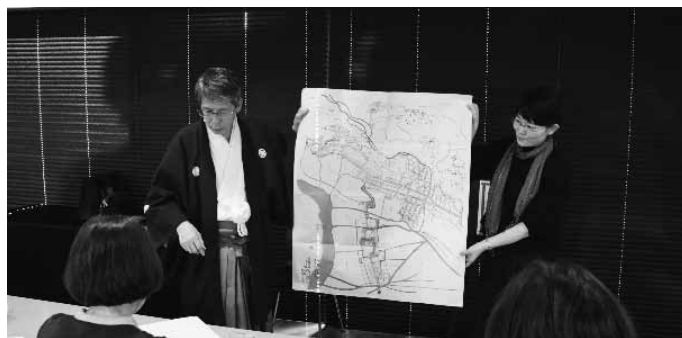
『ゴジラ-1.0』の岡谷市役所前

諏訪交響楽団、松澤有といった、100 年も前の諸先輩方の気配を色濃く感じます。

諏訪は魅力のある地域です！これからも諏訪の湖で、星を、歴史を、世界を眺めながら、司書として人と資料、専門家と一般の方、理系と文系、過去の知識と現在の見識などを、つないでいけたら嬉しいです。



作成してきた紙芝居、本



地域のお話会にて宮坂宮司と



医療法人社団 清慈会 理事長
Jオーケストラ実行委員長
宮坂 厚弘 (93回生)

医療法人社団 清慈会
〒112-0002 東京都文京区小石川3-1-6
TEL & FAX 03-3816-0004
E-mail: a-miya@cj8.so-net.ne.jp

医療法人社団 清慈会

- ☐ 小石川歯科クリニック
- ☐ 戸越パーク歯科クリニック
- ☐ 御徒町パーク歯科クリニック
- ☐ 向島パーク歯科クリニック
- ☐ 三田パーク歯科クリニック
- ☐ 有明パーククリニック (歯科・皮膚科)
- ☐ 牛込パーククリニック (歯科・内科・外科・皮膚科)
- ☐ 宮坂歯科診療所
- ☐ 医療法人社団翠聖会 新宿西口歯科医院 副院長 兼 訪問診療部長
- ☐ 山本歯科医院 訪問診療部長

Your Voice. Our Mission.
あなたの声が、我々のミッション
労務・社会保険・人事制度をワンストップで支援

 **VOICE社会保険労務士法人**

特定社会保険労務士

代表 **野口 栄治 (93回生)**

〒391-0003 長野県茅野市本町西1-40
☎ 0266-71-1154 ☎ 0266-72-5063





描くこと、届くこと。

田中 晴也
(93回生)
ゴム版画家



言葉にした途端、その言葉が空気に触れて、端から枯れていくような感覚。

昔から、私は会話のコミュニケーションに対して違和感を抱えていた。誰かと話している最中、ふと自分の言葉が嘘くさく感じてしまう。相手の言葉も表面的な記号にしか受け取れず、会話の熱量が急速に冷めていく。そんな「しらけ」の感覚が常に隣にあった。そのくせ内面では人一倍、他人との繋がりを求めている。そんな矛盾が私をアートやデザインといった言葉ではないコミュニケーションに向かわせたように思う。

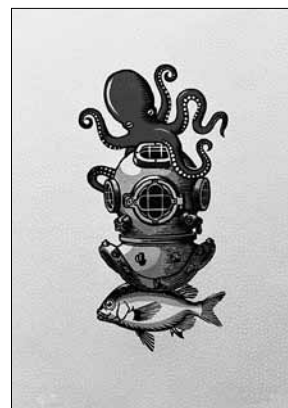
美術大学を卒業後、広告のデザイナーとしてのキャリアを始めたが、そこでも「言葉」の壁に突き当たる。デザイナーはクライアントのメッセージを形にする仕事。そこで発せられる内容は、必ずし

も自分の思いとは一致しない。言葉から逃げるように入った表現の世界で、私はまたしても「自分のものではない言葉」を扱うフラストレーションを抱えることになった。

当時からデザインの仕事をしながら自分の作品も作っていたが、デザインの仕事で起きる歪みを

埋めるように、作品制作の動機は、より個人的なものへ純化していった。作品からは社会的なイデオロギーや思想のようなものが削げ落ち、もっと手前にある原始的な感情を表現する方向へと向かった。「気持ち良い」「気持ち悪い」「美しい」「醜い」「好き」「嫌い」。理由を説明できない純粋な感情。言葉になる手前のイメージを形にすること。それが自分にとって歪みのない表現だった。

転機はSNSが社会に浸透し始めた頃だ。それまで自分の心のバランスを保つためだけに制作していた作品を、なんとなくSNSにアップしてみたところ、思いがけず海外からも反応が届くようになった。フォローやコメントや作品制作のオファーという形で他者とのコミュニケーションが生まれ始めたのだ。驚いたのは、作品制作におけるビジュアルの表現には「しらけ」がなかったことだ。言葉のように、外に出た瞬間に歪んだり、余分な装飾がついて枯れたりすることがない。私の中から抽出されたメッセージは、言語や文化の壁を越え、世界中の



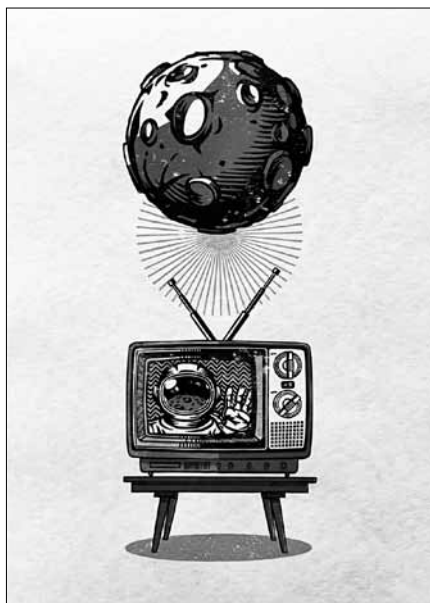
人々とダイレクトに繋がることができた。それは、私が欲していた歪みのないコミュニケーションのように思えた。

現在はグラフィックデザイナーとして日々活動しながら、作家としての場も広げている。個展やアートフェアへの参加は、言葉を介さない対話の場だ。そこでは、作品を前にした誰かと感覚を共有する瞬間がある。ワークショップでは参加者と「言葉になる前の感情」を形にする喜びを共有する。作品やグッズを販売し、私のイメージが誰かの日常に溶け込んでいく手応えは、かつて感じた空虚さとは対極にある、確かな体温を持った繋がりがだ。

今はまだ、こうした原始的な感情の共有が作品のテーマだが、今後はもっと複雑な、異なる質の内容を伝えたいかもしれない。その時は、あの「しらけ」に立ち止まることなく、真っ直ぐに想いを手渡せるような、新しいコミュニケーションを築いていきたい。



Instagram



あなたの会社は、
何が違う会社なのか。
言葉になっていますか。

強みや選ばれる理由を整理し、伝わる形にする。
そんな情報発信とネット活用を支援しています。

beChu

雨宮伊織 (93回生・富士見町)
情報発信・ネット活用支援
be-chu.com



長野県諏訪市湖岸通り2-7-21-706

株式 **エフシーキューブ**
会社

代表取締役 **萩原 雄一**
(93回生)



式年造営としんかい建造

五味 和宣

(93 回生)

海洋研究開発機構 国際課



1998 年の御柱祭、本宮一の建て御柱の前でカメラを担いでいた。LCV の中継でメインとなるカメラだ。「ここでやれることはもうないかな」と静かに確信した。僕はまだ若く、一度ローカルを離れることにした。

麻布十番の映像制作会社に転職し、早稲田の教授とロンドンやエジンバラを巡って素材を撮りためていた時のこと。グラスゴー美術学校へ向かうタクシーの中で、運転手が「ニューヨークで何か大きな事故があったらしい」と言った。校舎に入ると学生達がテレビの前で悲鳴をあげていた。2001 年 9 月 11 日だった。あの映像が世界を変えた、とも言われるが、僕はまだその恐ろしさに気づいていなかった。

何気なく応募した海洋研究開発機構の広報課に転職し、“しんかい 6500”の後継機建造の機運を高めるため「しんかいの系譜」を制作した時のこと。僕は“技術の伝承”という視点で脚本を書いた。御柱祭の式年造営と同様、定期的に作り直すことで先人の技術が次の世代へ受け



映文連国際短編映画祭 2011 表彰式

継がれる。氏子たちが柱を曳き、建て、また 6 年後に繰り返す。それとしんかいの建造を重ねた作品は完成して賞も取り、キネマ旬報にも載った。その作品の初披露の場は、東京海洋大学でのシンポジウムだった。2011 年 3 月 10 日のことだ。

翌日はイベントのため、新幹線で八戸に向かっていた。突然レールに衝撃があり、車両が止まった。雪の中、線路を歩いて避難所へ。宮城県大崎市。情報もなく、寒さと空腹に苛立っていた。翌朝、僕は青森行きのバスに乗った。まだイベントがあると思っていた。八戸のホテルで「宿泊できない」と言われても苦情を申し立てるほど、何も知らなかった。ロビーで軽食を食べてい

ると、テレビに巨大な海水の塊が映し出された。

帰宅してから数日間、震災の映像を見続けた。震えが止まらず、涙目で画面がよく見えない。9.11 も東日本大震災も、事態は映像で知った。映像は人の認識を塗り替え、感情を動かし、世界の見え方を変えてしまう力がある。その力の大きさが急に怖くなった。映像は僕にとって夢の技術だった。原子力のように。だから同時に、もう軽々しく触れてはいけないものになった。それ以来、細々としたコンテンツしか作っていない。

40 歳を過ぎた頃、極真六本木道場に通い始め、東京マラソンで初出場サブフォーを達成し、僕の関心は身体の内側へ向かっていく。今は国際課へ異動し、地球規模の研究を支えることを生業に、まさにグローバルな業務に従事している。だがその身体の内側では、骨盤と肩甲骨を連動させるべく、密かな鍛錬が続いている。これを僕はローカルへの帰還と呼んでいる。

グローバルにおける日本の存在感は悲しいほど低くなった。失われた 30 年と共に社会を経験した世代として、落胆と責任を感じている。附属中の職場研修をきっかけに同窓会に顔を出すようになり、諏訪との接点を取り戻しつつある。

二度目に見たボブ・ディランは、もはやギターすら持たず、ピアノの前で原型をとどめない曲を、煮詰めたようなしゃがれ声で囁いていた。中年男性はスタイルを変えなければ生きていけない。それに、居場所がなければ生きていく資格はない。



有人潜水調査船「しんかい 6500」

お客様に安心と満足をお届けするタイヤ・ホイールの専門店



県下 17 店舗。「より良い商品をより安く」を大切に。

タイヤガーデンピットイン

取締役専務
岩波 幸一 (93 回生)

本社/下諏訪店 〒393-0035 下諏訪町 6172-8 TEL.0266-28-3488

<https://www.pit-in.co.jp/>

Pit-in

上諏訪店 茅野店 富士見店 伊那店 箕輪店 若槻店 長野東店 川中島店
上田原店 千曲店 安曇野店 東御店 佐久店 城東店 並柳店 松本村井店



特 集
座談会グローバルに生きる
～諏訪の地から世界を見据えて～

信州・諏訪の小学校の教室から、ニューヨークのカーネギーホール、さらには中東を走る車のタイヤまで——。一見、遠く隔たった世界は、実は私たちの「足元」から繋がっている。かつて同じ学び舎で過ごした同期生たち（93回生）が、それぞれの「現場」で培った経験を携えて再会。それぞれの「グローバル」を語り合った。

「足元」の行動が世界へ繋がる瞬間

吉川 皆さん、お久しぶりです。今日は「グローバル（Think Global, Act Local）」をテーマに語り合いたいと思います。まず初めに、自分から。前任の学校の5年生の授業で難民キャンプの映像を見て語り合った。初めは他人事だった子供たちが「自分たちにできることはないか」と声を上げ、そこからユニクロとタイアップして子供服を集めたことがあった。また、SDGs（持続可能な開発目標）の一環として、給食の牛乳瓶の蓋やソフト麺の袋の分別収集を通して温暖化対策に繋がることを学んだ。こうした小さな行動が、実は世界と繋がっていると子供たちが感じ、世界や未来のことを考えて成長してほしいと思ってやってきた。それが自分にとってのグローバル。

宮坂 僕はコロナ明けの3年前に医学生や医療従事者のオーケストラ「Jオーケストラ」の本格的な活動を開始。それで昨年、ニューヨークのカーネギーホールで公演をしたんだ。

雨宮 オーケストラができたのは、そんなに最近？

宮坂 そう。結成して2回目で、カーネギーホール（笑）。でも、目的は演奏だけじゃないよ。2009年、訪問医療を学びたくてアメリカ留学中に会ったのが「戦争花嫁」。戦後、米兵と結婚して渡米した80～90代の日本人女性たちが、現地の老人ホームで孤独に過ごしている。彼女たちは、久しぶりに日本語に触れて、本当に喜んでくれた。そういった、彼女たちのような人たちを含めて、全米には在留邦人が41万人いる。同じ日本人としてエールを送りたかった。それだけじゃなくて、僕らは、医療従事者の集まりだから、

日本人が多く入居している老人ホームとか日系人が集まる所で出張コンサートや医療情報などを日本語で届けたりした。

北澤 志が高いね。

宮坂 今、感じているのは、日本を飛び立った人たちは、心のどこかに故郷を置いて生きている。日本から離れて生活する日本人も、いろんな形で頑張っているんだっていうのを、逆に海外で知ることができた。

ローカルだけど実はグローバル

雨宮 僕はITの世界に生きてきた。実は、ITの世界にはそもそも「ローカル」が存在しません。インターネットもSNSも、最初から「グローバル」が前提。それなのに、僕たちのデフォルトの考え方って「地方があって、東京があって、海外がある」となっている。わざわざ「東京のメディアというフィルター」を通さないと、世界が見えないと思込んでいる。

吉川 具体的にはどういうこと？

雨宮 例えば、インスタグラムやYouTube。わざわざニュースを待たなくても、今この瞬間にイランやニューヨークで何が起きているか、直接見ることができますよね。言語の壁だって、今はマウスを右クリックして翻訳すれば解消される。情報の壁なんて、本当はもうないんです。逆に、茅野市の小さなケーキ屋さんがフランス語で発信してフランスの人に届けば、その店は彼らにとって「日本の代表」になる。そこが勝負。会社も世界の同業者が、ど



卒業後の再会！ 心の距離は一瞬で縮まる
(2026年3月23日、諏訪清陵高校同窓会館にて)

う取り組んでいるのか、すぐに知ることができる時代になった。だから、地方で、ローカルがローカルであり続けるためにグローバルな情報を利用しなきゃ損。その考えが、僕にとってのグローバル。

岩波 右クリックいいね。俺のやっているタイヤ屋なんて、一見ローカルで売っているけど、実は極めてグローバル。例えば、日本用のタイヤをドバイで使えば熱でバーストするし、逆に欧米基準のタイヤでは、長野の凍結路面では安全を守れない。

宮坂 タイヤにもそんな「地域特性」とか「世界基準」があるの？

岩波 そう。日本は世界で最もカーブが多く、タイヤが減る国。特に長野は過酷だ。長野は標高が高いから、昼間に雪が溶けて夜にまた凍る。この「溶けては凍る」を繰り返す路面は、世界でも日本と中国の一部くらい。だから、環境に合わないタイヤを安いからって買っちゃうと事故る。だから、それを防ぎたい。きちんとした説明をして、きちんとしたタイヤを、きちんとした価格で買ってほしいって思っている。だから、ローカルなんだけど、世界中のタイヤのこととかは、すごく学んで

いて、お客さんにちゃんと応えられる販売員をつくりたいって思っている。

「繋がり」の温かさを感じる

吉川 皆さん、それぞれの思いをもって、あえて地元で活躍しているよね。

雨宮 僕は子供が保育園に上がるタイミングでUターンした。東京での生活は、どんなに頑張っても「稼ぐか消費するか」の繰り返しに感じられた。でもここでは、原始的というか、生み出すことができる。例えば野菜を作るみたいな。自分たちの手で暮らしを形作る手応え、それが地方にはあります。

北澤 私は、子育てを通してたくさんの気づきがあったんだよね。最近になって、20代後半頃に、指揮者の柳澤寿男君に言われたことを思い出したんだけど。「東京にいるだけが一線で活躍しているわけじゃない」って。当時はピンとこなかったけれど、今はその言葉を実感している。地方でも第一線で活躍できて、自分にしかできないことが必ずあるって。地方にいると「本物は東京にしかない」と思い込みがち。実は、娘に音楽の本質を学ばせたくて、東京の教室まで通っていたこともあったんだけど。当時は「諏訪では、本物の音楽教育は受けられない」とさえ思っていた。でも今は、私自身が東京で学んだ本物を、この地で伝えたい。万人受けはしないかもしれないけれど、曲げずにやっていこうと取り組んでいる。それで、自分が「唯一無二の存在」になれるのでは

ないかとの思いでやっています。

宮坂 確かに。自分の場合は、父の代からの患者さんを最後まで診るという責任感は、この土地だからこそ強く感じます。

北澤 地域ならではの、というか、私は、諏訪で演奏会を開くと、チケットを買って応援してくれる「顔の見える関係」があることが嬉しい。東京の立派なホールで弾くのは全然違う、温かな繋がりががあります。

岩波 その繋がりが「絆」だね。

学び続けることの大切さを再認識

岩波 でも、田舎特有の「閉鎖性」は、壊していかないと。自治会に入らないとゴミを捨てさせないなんて、今の時代にはナンセンス。僕は防災士として、移住者も巻き込んで「一人も死なせない地区」を作りたい。古い慣習をアップデートして、都会から戻ってくる人たちをウェルカムに迎えたいんだ。

雨宮 田舎の生活は、田んぼの水路管理など、住民の「見えない活動」で成り立っている。都会みたいに「行政がやって当然。税金を払っているんだから」という世界じゃない。自分たちで自分たちの暮らしを支えるという自負が、この地域を支えている。その「見えない活動」を維持するために、移住者と地元の「通訳」をしている。これは、富士見町は比較的ウェルカムな風土なんだけど、都会のスタイルで入ってくると摩擦が起きる。だから、地域のルールや「出払い」などの意味を丁寧に伝えていくんです。

宮坂 自分が受けてきた教育って、

英語を学ぶとか外に向かっている感じがする。実際に、海外に行くと「日本のこと教えてよ」ってなる。地域を知る教育は、重要だと思う。

吉川 豊平小学校では「豊平塾」として、地域の方が講師になって子供たちに特技や歴史を教えている。地域全体で子供を育てる土壤がある。子供たちが「豊平が好きだ」と思って育ち、一度外へ出て、いつかこの地へ帰ってきてほしいと願っています。

岩波 教育って、とても大事な気がする。

北澤 地方だからと安売りせず、高い価値を提供し続ける。それが、この地域の魅力に繋がっていく、と信じている。私はこの諏訪の地で、音楽を通して「努力することの面白さ」や「本物の音楽」を伝えていきたい。今回計画しているコンサートも、その信念を形にする新たな第一歩と思っています。

雨宮 僕はSNSで、「田舎暮らし、素敵でしょ♪」って発信している。東京にいらなくても世界と繋がれるし、仕事もできる。だから、早くこちらに来ればいいのにな (笑)。

吉川 みんな高校の時より学んでいるね。高校の時は、させられてる勉強みたいな感じだったけど、今は、それぞれが自らの意思で学んでいる。学んでエネルギーがいるけど、それを今日の皆から感じた。足元から一歩ずつ。今日は、最高の刺激をもらいました。ありがとうございました！

(構成・日比勝彦)

〈参加者〉



吉川 豪

岡谷市出身。茅野市豊平小学校教頭。難民支援やSDGs活動を通じ、足元からの行動が世界に繋がる教育を実践中。



北澤由美子 (旧姓・関)

諏訪市出身。音楽教室主宰。ピアノ指導歴34年。演奏活動に加え、心の豊かさを育み、挑戦し続ける心を伝える。



岩波 幸一

諏訪市出身。タイヤショップ専務。「日本一ホワイトなタイヤ屋」を目指し、職場環境の整備と人材育成に全力。



宮坂 厚弘

岡谷市出身。歯科医師。東京と岡谷で医療法人を経営。父の代からの患者を診つつ訪問医療、音楽歯科に積極的に取り組む。



雨宮 伊織

富士見町出身。IT会社経営。東京からUターンし、八ヶ岳地域のDMO(観光地域づくり法人)のマネージャーを務める。

第75回清陵祭 同窓会展示報告

令和7年7月5日（土）6日（日）の二日間にわたり、清陵祭の同窓会活動の紹介展示を行いました。93回生5名（野明三枝さん、降幡順子さん、丸山一仁さん、村上陽一さん、柳澤寿男さん）の「清陵生へのメッセージ」をメイン展示とし、昨年度に引き続き、「校歌モチーフ屏風」「清陵祭ポスター」なども展示しました。「歴代校友会誌」には、昭和30年代から平成初期の清陵生の想いがつまった懐かしい会誌を展示し、同窓生や現役生が手に取り読み入っていました。また、廊下に掲示した「校歌の概訳」を興味深そうに読む現役清陵生の姿が印象的でした。6日にはコモンスペースにて、現役生と同窓生と一緒に校歌を披露するイベントが現役生の主催で行われ、多くの同窓生が参加しました。展示ブースには次年度当番幹事の93回生が集まり懐かしい話に花を咲かせ、夜は次年度の当番幹事に向けての会も行いました。

来場者アンケートには250人もの方から回答をいただきました。「同窓会に興味をもつきっかけになった」（同窓生）「校歌について、ちゃんと考える機会になってよかった」（清陵中生）「素晴らしい先輩方が学ばれた清陵で、子どもが学び育っていただけることを改めて誇らしく思った」（保護者）「過去の会誌が個人的に一番面白かった」「とても興味深かった。もっと広くいろんな所で発信していただきたい」（清陵高生）など、たくさんの方の感想をいただきました。多くの皆様にご協力いただき、ありがとうございました。（93回生 学年幹事）

93回生5人のメッセージ（禁転載）を
こちらから読むことができます ▶



心療内科・精神科
諏訪メンタルクリニック
Suwa Mental Clinic

院長 丸山一仁（93回生）

〒393-0046 諏訪郡下諏訪町東赤砂 4705-2

TEL 0266-75-1035

信州山麓株式会社

代表取締役 丸山一仁（93回生）

B型就労継続支援事業所

信州山麓保護猫カフェ

信州山麓カフェテラス

〒393-0046 諏訪郡下諏訪町東赤砂 4705-2

TEL 0266-75-1035

真澄



MASUMI
SUWA 1662

七号酵母へ原点回帰

上質な食中酒で、人々の心を結びたい。——

酒造りの主役である酵母を、七号系自社株※へ回帰させるプロジェクトを進めています。

※1946年に諏訪蔵で発見された親株から選抜を重ねた優良酵母

七号酵母発祥蔵元

宮坂醸造株式会社

〒392-8686 長野県諏訪市元町1-16
TEL: 0266-52-6161 FAX: 0266-53-4477



真澄ホームページ

2025 年度 諏訪清陵高等学校同窓会 定期総会 開催報告

日時：'25 年 6 月 21 日（土）13:30～17:30

会場：[対面] ホテル紅や（諏訪市） 255 名

[オンライン配信] Zoom 28 名

議事：①令和 6 年度会務・会計報告

②令和 7 年度事業計画・予算案

③ 130 周年記念事業について

企画：パネルディスカッション 14:15～15:15

『“清陵”という心の熾火（おきび）』

パネリスト等は右表参照

懇親会：15:30～17:30

・参加費 1 万円、(39 才以下 5 千円)

・乾杯、歓談、校歌

コーディネーター	回生	職業
竹内良之	92	岡谷田中小学校長
パネリスト		
清水雅仁	92	岐阜大学医学部教授
高木政志	102 [サブ]	箕輪中部小教諭
通崎千穂	112 [サブ]	SrotaStage 代表社員
松浦音湧	129 [高3]	前期学友会長

・総会の事後評価アンケート（回答数 106、回収率 40%）結果は右 QR コードから

・総会、パネルディスカッション、懇親会の動画は、同窓会新 HP の、会員限定マイページより視聴可能予定。

是非、HP からマイページへの登録をお願いします。



■総会（会場 178 名、オンライン 20 名）

今井同窓会長、倉澤校長より 130 周年にちなんでご挨拶をいただき、高木事務局長と岩波副会長より議案説明があった。詳細は同窓会 HP 参照。

■パネルディスカッション（会場 194 名、オンライン 28 名）

同窓生の心に静かに灯り、それでいて熱量充分な“清陵”という熾火が、各自の人生にどう影響しており、今後はどんな“理想の花”を咲かせたいかを語り合った。途中、先輩方が、絶妙のタイミングで「そうだそうだ！」等の掛け声をくださり、和やかな雰囲気となった。会場には、51～129 回生（高 3）、オンラインでは 69～132 回生（中 3）に参加頂けた。現役生の松浦学友会長からは、「（同窓会や地域に）施されたら施し返す努力をしたい」という嬉しい心構えを聞き、熾火が確実に現役生に灯され始めたことを確認した。



■懇親会（会場 255 名）

DX 推進部会から小尾副会長と石埜事務局機能強化部門長による、オンライン名簿登録のお願いがあった。その後、山崎顧問の威勢の良い乾杯により 2019 年以降の紅やの懇親会が始まる。なお乾杯には、立木壮樹氏（110 回生）のご厚意で縄文麦酒を 200 本分ご提供頂いた。豊富な料理・飲料とともに歓談を楽しみ、最後は、次年度当番幹事 93 回生の音頭で校歌の大合唱。年齢差 70 才以上の同窓生が一体化した瞬間は圧巻であった。



●まとめと課題

パネリストに若年層・女性加わったことで、幅広い年代層の参加が得られた。会議用カメラを購入しホテルでもオンライン配信が安価に実施できた。当日の懇親会参加者数（今回 19 名）が読めないことは課題。QR コードでの申込やカード決済により支部・学年幹事の負担軽減と経費削減が見込める一方、支部・学年を通じた直接の声かけの動員に優るものは無いとも感じる。ホテルでの懇親会費は、2019 年の 5 千円から 1 万円へ増額となったが、費用設定は要検討課題である。同窓会 130 周年記念事業実行委員会メーリングリストを活用して、学校・役員との連携を強化できた。学年幹事長 LINE グループ等へ若年層に加入いただき活性化していきたい。高校授業料無償化もあり学校間競争は激化している。DX 化の波に乗り同窓会の重厚さを清陵の魅力として発信し続ける必要があろう。最後に、ご協力賜りました全ての皆様に当番学年一同感謝申し上げます。有難うございました。

(92 回生 笠原健一)

割烹 仙岳

代表取締役社長
小口慶一郎
(84 回生)ご家族やお仲間の集いの場
としてご利用下さい全室、個室です。
和室に椅子の部屋もご用意できます。仕出しもご相談下さい。
ふぐ刺し・焼きかに等のお持ち帰りも
ご用意しております。
お祝いなど、特別な日の
お食事にいかがでしょう。

(←写真のふぐ刺しは持ち帰り用 3 人前)

<諏訪本店>
諏訪市湖岸通り 5-17-3
(湖明館通り)

TEL: 0266-58-3515

<松本店>
松本市深志 2-2-15
TEL: 0263-35-7849

公益財団法人 諏訪圏学校理科教育振興基金について

理事長 小口 武男（77 回生）

事業等の報告と昨年度のお礼

当基金（略称「理振」）は昭和 38 年当時諏訪精工舎代表取締役であった山崎久夫氏が「理科教育の充実に当ててほしい。」と諏訪清陵高等学校に申し出た 500 万円をそのルーツとし、平成 23 年には「公益財団法人」として認可を受けました。現在までに、多くの企業、銀行、個人の皆さまのご厚志に支えられ、一億円を超える基金に成長してまいりました。昭和 56 年には多くの OB/OG がお世話になった牛山正雄先生のご遺志金も含まれております。

現在は諏訪清陵高等学校の理科系クラブへの研究助成、資材助成を行うとともに、諏訪地域の中高一貫校及び中学校（17 校）に対し理科教育等の振興のための助成金の支給を実施しています。また、助成事業の成果は、毎年「理科研究収録」としてまとめ、その足跡を残しております。

昨年度は諏訪清陵高校 130 周年ということもあり、はじめて振込用紙を 16000 名の会員に会報同封にてお配りしたところ、大口寄付も頂戴し、また 100 名近くの皆様から合計 1840 万円を上回るご寄付を頂きました。この場を借りてお礼申し上げます。

財政基盤強化（寄付）ご協力をお願い

一昨年から諏訪清陵高校は SSH 認定校として国からの金銭的支援は終了し、同窓会、PTA、理振の支援

により充実した課題探求型 SSH を進めております。しかしながら、その活動を今まで以上に支援するには、運用財源の「基本財産」を増強するしか方法はありません。つきましては、同窓生の方々に、諏訪地方等の理科教育振興のためにご協力をお願いする次第です。

公益財団法人の許可を受けたことにより税法上、個人の場合は所得控除、法人の場合は損金算入の特典があります。寄付を受領後控除資料を記載の住所にお送りします。

なお、詳細につきましては、以下の連絡先までお問い合わせ願います。

【連絡先】

事務局 長野県諏訪清陵高等学校内
TEL0266-52-0201（教頭：佐久浩信）
FAX0266-57-2426

【振込口座：銀行、インターネットなどからの振込はこちら】

- ・八十二長野銀行 諏訪支店 普通預金 8186
- ・諏訪信用金庫 上諏訪支店 普通預金 0021896
- ・ゆうちょ銀行
○五九（ゼロゴキウ）店 当座預金 0104457
名義は「公益財団法人諏訪圏学校理科教育振興基金」です。

※振込の際は何回生かが分かる情報を付加願います。

ずっと一緒に いつも近くに



私たちは、地域のみなさまとともに、このまちの未来を創造しています！

理事長 田中 輝明（81回生）

武居秀実（80）・岡本賢吾（85）・藤森正樹（86）・藤森康久（88）・細田勝夫（88）・牛越智彦（91）・濱宏臣（91）
中村進（92）・林直樹（92）・五味孝洋（93）・五味貴（94）・樋口廣一（95）・宮阪清文（95）・矢澤吉行（95）
澤井靖忠（96）・鈴木真介（96）・花岡あかね（97）・宮澤正（98）・小口和恵（99）・竹内一記（99）藤原芳枝（99）
五味静絵（100）・小口泰平（101）・雨宮直之（103）・折井友彦（103）・矢島亮（103）・山田智史（103）大蔵隆道（104）
御子柴香奈（104）・森山広基（108）・小口駿人（109）・河西瞳美（109）・小林奈津子（109）竹村一也（109）
宮坂駿一（110）・根橋洋孝（112）・伊藤佑樹（113）・横内智（113）・小口剛典（114）・藤森尉光（114）
渡辺泰樹（115）・今井俊語（116）・高木陽平（116）・中川陽介（116）・中山真理子（116）・中山葵泉（122）

ますます広がる

母 校 連 携 活 動

2025 年度実施報告

同窓生と現役の清陵生をつなぎ、進路選択やキャリア選択に活かしてほしいという同窓生の思いから、東京清陵会を中心に実施している母校連携事業は、エリアや年次を超えて幅広く活動が広がっています。2025 年度も新規の活動もふくめ沢山の同窓生にご協力いただきました。

附属中学校「東京研修旅行」での企業受け入れ

東京清陵会 OB、OG 協力による企業見学は、昨年度下の 10 社の協力を得て開催いたしました。研修に当たっては単なる仕事の内容や技術の紹介をするだけでなく、見学企業の新商品を考えてプレゼンするといった体験も企業側の創意工夫で行っているようです。

2016 年から始まったこの企画ですが、企業見学を通して自分の興味や将来を深掘するきっかけにもなり、実際に大学の進路として選択した生徒もいるとのこと。多分野で活躍している先輩と直接会えて話しができる経験は、大きな刺激になっているように思います。

〈担当 82 回生 竹内雅彦〉

◆令和 7 年度 諏訪清陵高等学校附属中学校 研修旅行
見学企業一覧

企業名	業種
税理士法人フェアコンサルティング	サービス：コンサルティング（税務）
ブリヂストン株式会社	メーカー：自動車関連
KDDI 株式会社	ソフトウェア・通信：通信
JAMSTEC （国立研究開発法人海洋研究開発機構）	官公庁：研究機関
株式会社電通	マスコミ：広告
清水建設株式会社	メーカー：建設
世田谷自然食品	メーカー：食品
古河電気工業株式会社	メーカー：電気エネルギー インフラ
大和コネク ト証券株式会社	金融：証券
株式会社エム・ピー・ソリューション	メーカー：キャッシュレス 決済等

高校 1 年生対象キャリア講演会

2025 年度で 7 回目となる高校 1 年生向け高校キャリア講演会は、各分野で活躍する同窓生が、講師として自らの人生観・職業観を伝えることで、生徒が進路決定や働くことについて深く考える機会を作ろうとするものです。同窓会は、高校からの要望に基づき、生徒に比較的近い世代の多様な分野の同窓生を講師として紹介しています。各講師の講演について、高校及び生徒の皆様より、たいへん有意義な内容であったとの評価をいただき、また、講師の方からも、得難い経験だったとのお声をいただいております。次年度以降も、多様な講師を紹介いたしたく、同窓生の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

〈担当 82 回生 小野隆吾〉

◆キャリア講演会 講師リスト 2025 年 7 月 19 日実施

業種	氏名	回生	会社名、所属等
インフラ（運輸業）	大内 春菜	114	西日本旅客鉄道株式会社 （JR 西日本）

サービス業	二村 成彦	116	株式会社豊田中央研究所 企業所属研究者
学術研究	上島 翔真	116	京都大学基礎物理学研究所 研究職
サービス（コンサルティング）	石城 陽太	116	アクセンチュア株式会社 データサイエンティスト
医療・福祉	宮澤あずさ	118	順天堂大学医学部附属浦 安病院 看護師
情報・通信	塚原 義阜	118	フューチャー株式会社 IT コンサルタント

高校 2 年対象 大学模擬講義

2021 年度から開始して 5 回目となる、大学模擬講義。25 年度は 9 月 20 日（土）に開催しました。講師陣は、東京だけでなく、九州、神戸、名古屋の大学から来ていただき、本年度は、理系 4 コマ、文系 3 コマ、医系 1 コマという講義内容を実施しました。内容は、所属大学の紹介や学部選択の仕方、高校時代の過ごし方など先輩としてのアドバイスも含みつつ、大学の授業と同様の内容を講義いただいています。講義後には質疑応答、感想アンケートなどを生徒からいただきますが、講義分野への興味関心が高まった、進路を真剣に考えたいと思ったというコメントが数多く寄せられており、講師陣からも大きな手ごたえを感じるという話をいただいています。

〈担当 88 回生 佐藤美智子〉

◆講師名と講義タイトル

講師名（回生）敬称略	講義タイトル
日本大学文学部化学科 藤森 裕基先生（88）	水と氷の科学ー研究最前線
東邦大学・医学部 山崎 創先生（91）	生命多様性の中でのヒト・生命 の仕組みの理解と医学への利用
神奈川大学人間科学部 吉澤 達也先生（86）	見ているもの≠存在しているもの ー心の働きを知る
帝京大学先端総合研究機構及び 理工学部・大学院 田沼 唯士先生（76）	イノベーションを生み出す設計 ／解析とは ー持続可能な社会に必要な創造 的なものづくりと医学・歯学を 支える工学ー
神戸大学大学院理学研究科 青沼 仁志先生（88）	昆虫を操って解き明かす適応行 動のメカニズム
京都大学ヒト行動進化研究センター 今井 啓雄先生（89）	味覚受容体の変化とヒトを含む 霊長類の進化
別府大学文学部国際言語・文化学科 藤森 千博先生（94）	ことばの「不思議」を探る
帝京大学 外国語学部 外国語学 科 スペイン語コース 千代 勇一先生（90）	ラテンアメリカの麻薬問題はど こから来て、どこへ行くのか？

その他の活動

- ・大学オープンキャンパス受け入れ（東大・東北大）
夏休みには高校生に対し「東大見学」を独自に実施。OB の教員や現役の同窓生を中心に大学紹介やミニ講義などを学内で実施しています。
- ・SSH 特別講義での講演
高校で年に数回開催されている講演会に、同窓生により講演をしていただいています。25 年度は村上あかねさん（95 回生）、宮原陽一さん（89 回生）などが講演してくださっています。

諏訪・清陵を未来につなごう ——DXで在校生と同窓生を接続する

DX推進部会長 小尾順子(78回生) 事務局機能強化部門長 石埜穂高(同)

◆ 清陵はDXを目指す

東京一極集中の流れの中で、諏訪の姿は大きく変わりつつあります。人口の減少と、ものづくり産業の縮小。そのため清陵も、多くの優秀な生徒を他地域に奪われてしまうようになりました。私たちの基盤が、揺らいでいます。

一方で、母校は国の「DXハイスクール」事業に採択され、生徒や教職員の皆さんは、ICTやAIの力をフル活用した清陵らしい「文理一体の学び」を開始しました。

戦はんかな時来たる！ 同窓会もDXを目指します。それは、ICTやAIの力で在校生と同窓生をつなぐため。学びと知恵、知識と生き方をつなぐことで、諏訪に根差した稀有な地縁集団の力を集め、未来へつないでいくためです。

◆ 学校と同窓会を接続する

「母校」という言葉には、特別な響きがあります。最も多感な時期に互いの時間を共有し、人生の根本を育んだ場所だからです。ただ、その関係は卒業とともに一度途切れてしまいます。同窓会は、その縁をもう一度結び直す仕組みとして存在してきました。DXは、そのあり方をさらに一歩進めます。在校生のデジタル化された学園生活に、同窓生のデジタルネットワークを接続することで、入学と同時に始まった濃密な関係を、そのまま卒業後まで引き継いで、先輩と後輩、学校と社会が、ひとつの流れとしてつながっていくことになるのです。

◆ 卒業の前後を接続する

そのとき「卒業」は、関係の終わりではなく、つながり方の変化、立場や関わり方が変わる節目にすぎなくなります。在校生として「学ぶ」期間から、卒業生として「関わる」期間へ。たとえば——

◎在校生が進路に悩んだとき、卒業生が実体験からアドバイスする。

◎卒業生が社会で得た知見を、母校に還元する。

◎在校生の学びや部活の成果を、世界の同窓生に発信する。

◎世代を超えたつながりから、新しい挑戦を生み出す。

こうした循環を、自然につくり出す仕組みを整えていきます。

◆ 諏訪人は世界と接続する

一般に「松本人」「甲府人」などとは言いません。しかし「諏訪人」という呼び方は、内外で普通に使われています。それは、諏訪に根差し、自ら考え自らの手で産業文化を興してきた稀有な「地縁集団」としてのアイデンティティを指す言葉です。地縁集団というと、伊藤忠・丸紅・高島屋・西武グループなどを興した近江商人がまず想起されますが、彼らが全国各地で大商業を興したのに対し、諏訪人は各地で様々な技術を学んでも、必ず帰ってきてものづくり産業を興しました。立川流や寒天づくりに始まり、日本の屋台骨を支えた製糸業も、精密・光学・電子産業も、同じ系譜です。コンセプトアート松澤有も、米国留学から帰って諏訪を拠点に世界に発信しました。諏訪に根を張り、独自の価値を生み出し、世界と接続する。「諏訪人」のこの特質を長く育ててきた中核の一つが、諏訪中学校、そして現在の諏訪清陵高校だと言えるでしょう。

◆ 諏訪人は未来と接続する

清陵DX構想は、この諏訪人の系譜を、現代の技術で再び束ね直す試みでもあります。「帰ってくる」地縁集団と言いましたが、今は諏訪から出ていった同窓生は、七年一度の御柱に帰ってくる程度でしょうか。しかし、デジタルネットワークで結ばれていれば、世界のどこで活躍していても、母校に、諏訪に「帰っている」状態をいつでも作り出すことができます。在校生と卒業生、保護者・先生方・地域がゆるやかに結びつき、世代を超えて知見と経験を循環させることができます。これは、単なる同窓会の活

性化ではなく、諏訪人という地縁集団そのものの再構築と未来的発展につながるはずです。

◆ 諏訪・清陵という共同体を未来へ

清陵DX構想は、単なるIT導入プロジェクトではありません。母校という存在を、「過去」の場所から「現在進行形の共同体」へと変えていく試みです。諏訪という土地に根差しながら、世界に展開している「諏訪人」がゆるやかに接続し、世代を超えて支え合い、学び合う。その中心に、母校・清陵があり続ける。——私たちはいま、母校の新しいかたちをつくる入口に立っています。この取り組みは、一部の人のみで実現できるものではありません。同窓生一人ひとりの理解と参加によって、はじめて意味を持ちます。ぜひ、この構想に関心を持ち、まずはマイページ登録を済ませてください。そして、ともに「これからの清陵」、「これからの諏訪」を育てていきましょう。



▲6月リニューアルの同窓会HP(イメージ)。各支部のHPも統合され、使いやすくなります。右ページで紹介する新しい展開も、HPを起点に次々にオープンする予定です。

こんなことができる！ 今年度の開発テーマ

【清陵フォーラム】

卒業生も在校生も、清陵に思いを寄せる誰もが参加できる掲示板です。スポーツ・文化・科学の同好会でも、大学同窓会でも、同業同士でも。誰でもテーマをアップして呼び掛けでき、世代を超えた交流と学び合い、価値創造の場が生まれます。

【デジタル130年史閲覧】

清陵の学びや部活・同窓会の歩みをデジタル年表で一覧。トピックをクリックすると、記事や写真を閲覧できます。

【クレジット決済】

各種会費や物品購入の支払がクレジットカードで可能に。寄付金やクラウドファンディングも小額から手軽に支払えます。

マイページ登録を！ すべてはここから

【まずは目標8千名】

昨年度から始まったマイページ登録ですが、これまでご登録いただいたのは、会報送付先(1万6千名)の1割あまり。本格的な運用には、5割・8千名の登録が必要です。あなたもぜひ、会報の封筒の宛名ラベルにある会員番号でログインし、マイページ登録をお済ませください。



<https://suwaseiryo.com/register.html>

DX委員への参加を！ 学年から・部活から

【各支部会・学年会・部活で】

DX委員とは、各部門でDX推進と個人情報管理の役割を担っていただく委員。既に多数の支部・学年会から就任していただいておりますが、学年会はまだ半数程度、部活はこれからです。各部門からのご選出をお待ちしています。

【まずはDX研修を】

個人情報保護の必要性から、DX委員に就任される方には必ずDX研修を受けていただいております。いつでもどこでも受講できるオンライン研修ですので、DX事務局・岩波まで、お気軽にご相談ください。

清陵同窓会DX事務局

dx-office@suwaseiryo.com

女性部だより

今年度も女性部の活動にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

女性部総会

2026年1月24日(土)、セイコーエプソン企業年金基金会館ゆうむ25において、久々に実開催。12名が参加し活発な意見交換を行いました。懇親会でのざっくばらんな懇談も実りあるものでした。

皇居三の丸尚蔵館
見学バスツアー計画中！

詳しくはHPの号外をご覧ください。

告知！



ダイバーシティ&インクルージョン ワークショップ

2024年度から2年間にわたり、全4回を開催。第3回(2025年7月31日)は「少子化と多様な家族のかたち」をテーマに、社会の中で子育てを担う人の位置づけについて考えました。第4回(2026年1月22日)は「災害とダイバーシティ」をテーマに、ワークを通じて弱い立場の人が直面する課題について理解を深めました。いずれも14名が参加し、社会の中での多様性について具体的に考える機会となりました。



フェタイムには互いの撮影会も行われ、穏やかで豊かな時間となりました。

支部だより: 東海支部

告知！

東海支部では、毎年恒例の8月第一土曜日に総会を予定しています。今回は犬山駅前のレストランを会場に、初のバーベキュー総会を行います。1年半前に女性部主催の犬山ツアーでランチをしたホテルです。新会員も大募集中です。愛知県、岐阜県、静岡県、和歌山県在住・在学・在勤の方で東海支部にご入会いただける方、是非お仲間になってください！お待ちしております。 敦賀不二佳(89回生)

活動詳細はホームページで！

各支部からのご報告や活動の詳細は、会報52号号外ページでご覧いただけます。



ミモザDAY おしゃべりカフェ

2026年3月1日、国際女性デーにあわせて「ミモザDAY おしゃべりカフェ」を岡谷市内にて開催し、11名が参加しました。カメラマン相良裕子さん(86回生)をお迎えし、貴重なトークやセミナーを聴講。カ

創立 130 周年記念事業一般寄付者芳名 (敬称略)

令和8年3月31日現在の一般寄付を納入いただいた方々です。ご協力ありがとうございました。

〈48 回生〉	小林 和磨	〈65 回生〉	斎田 久人	〈74 回生〉	小林 生典	名取 克裕	百瀬 賢志	〈102 回生〉	
木下 芳英	高木 祥勝	伊藤 速一	宮坂 秀一	今井 竜五	小松 一俊	西川 俊夫	〈92 回生〉	小口 祥史	
永由 利弘	宮澤 政文	今井 四平	矢澤 博	岩本 敏男	小松 忠一	吉山 浩光	今井 宗泰	笠原 稔大	
〈49 回生〉	矢崎清太郎	岩波 武功	吉江 森男	植松 孝彦	両角 寛文	〈85 回生〉	河西 信	〈103 回生〉	
河西 勇	米沢 豊	岩本 弘	吉川 仁	大滝 精一	柳平 信夫	今井 真	笠原 健一	奥原のぞみ	
北澤 素幸	〈61 回生〉	小林 一彦	〈70 回生〉	久保田俊正	〈79 回生〉	北原 武	山口 奏子	柳平 大樹	
〈51 回生〉	太田 龍朗	小林 治雄	石田 隆男	五味 公守	伊藤 幾文	武井 新彦	植松 真実	金子 美緒	
小池未来人	小河原章博	五味 正明	加島 範久	高木 健治	河西 一彦	宮坂 一彦	新村 克英	〈104 回生〉	
小林 俊介	唐澤 英安	細田 正昭	唐木 康正	土橋 英一	窪田 好実	〈86 回生〉	西澤 賢	永田 正樹	
小松 袈伴	北原 隆	宮澤 健一	田村 義明	佐藤 恵子	小林 秀年	清水 俊樹	林 秀樹	〈105 回生〉	
堀内 昭八	平野 国政	〈66 回生〉	藤森 廣幸	吉田 利幸	五味 桂一	青木 裕子	藤森 伝太	五味 良子	
山崎 壯一	宮坂 真也	小野里喬史	細川 芳雄	〈75 回生〉	高木 保夫	武田 正利	古林 一哉	花岡 岳志	
〈52 回生〉	高見澤忠明	河合 三彦	藤森 行雄	吉川 秀樹	武井 亨	樋代 章平	山田 修	堀 晶彦	
浦野 実	〈62 回生〉	小平 正八	安木 良博	小林 敦仁	竹村 潔	細田 明	〈93 回生〉	〈106 回生〉	
笠原 邦三	小口健一郎	常田 信行	〈71 回生〉	五味千万人	春間 和彦	〈87 回生〉	小口 信行	小口 勇太	
〈55 回生〉	木下徳太郎	降幡 賢一	窪田 昭男	田中 義清	伴野 豊	白上 淳	二見 泰雄	河西 正憲	
五味 省七	薩摩林俊彦	〈67 回生〉	小林 精治	徳嵩 昇一	〈80 回生〉	矢崎 裕夫	宮坂 清	狭間 大輝	
〈56 回生〉	清水 和親	飯沢 信次	磯野 康子	名取 和一	織田 吉夫	〈88 回生〉	吉川 豪	〈109 回生〉	
小池 寛	宮澤 生行	藤森 弘章	高橋 政幸	藤沢 進一	河西 利行	小川 幸司	〈94 回生〉	足助 みわ	
小泉 幸雄	両角 弘夫	細川 正行	田畑加久司	宮坂 好史	中谷 聡	小口 雄策	小口 和弘	両角 俊亮	
下平 勝幸	〈63 回生〉	山本 巖	増澤 博和	安木 良術	花岡 友子	河西 文子	北条 浩之	〈111 回生〉	
土橋 平治	牛山 省吾	吉江 幸次	宮坂 敏郎	〈76 回生〉	小口 澄江	長井 俊彦	〈95 回生〉	田中 福城	
堀川 尚武	遠藤 博万	〈68 回生〉	吉池 正	朝倉 義信	〈81 回生〉	今井 薫	小林 崇仁	〈112 回生〉	
守矢 哲	小澤 容	赤羽 貞幸	吉川 修	石井 和夫	小澤 弘	西澤 政彦	斎藤 泰史	小口 陽平	
山崎 滯子	久保田克明	牛山 和義	〈72 回生〉	稲葉利恵子	小嶋 満明	増澤 浩一	山本 瑞己	小野 東輝	
渡部 清	小池 博人	大槻 守	新井 滋平	金子 次男	今井 清光	高島由季子	〈96 回生〉	上田 森恵	
〈57 回生〉	小林 勉	倉田 直道	植松 高志	五味 篤	諏訪 雅顕	〈89 回生〉	下島 和弥	大橋 由貴	
五味 乙	小松 廣茂	花岡 柊好	小口 邦雄	坂本 茂樹	田中 輝明	大野 美江	渡辺 真宏	〈114 回生〉	
篠原 康夫	高木 鐵也	原田 盛夫	笠原 勇二	田沼 唯士	平島 孝人	植松 秀生	〈97 回生〉	宮坂 有紗	
〈58 回生〉	長谷川文規	藤森 照信	小泉 悦夫	花岡 正明	〈82 回生〉	倉澤 克弥	今井 弘毅	〈116 回生〉	
大西 暲三	浜 弘毅	〈69 回生〉	小林 茂光	花岡 正浩	伊藤 正三	野口 賢郎	西村 英一	土田 光明	
笠原 忠夫	藤森 宏一	青沼 水門	小林 隆夫	〈77 回生〉	小野 隆吾	松澤 毅	松見 洋平	〈118 回生〉	
竹淵 修二	牧 成治	岩波 寿亮	名取 重治	小口 武男	村松 健敏	宮坂 淳	向山 尚樹	帯川 恵輔	
平林 佳治	亙理美代子	小野 仁	林 健康	小澤 周介	守屋 郁男	宮坂 賢一	〈98 回生〉	〈120 回生〉	
吉田 嵩	吉原 千文	功刀 正行	山田 孝實	小林 初彦	〈83 回生〉	宮澤 一治	飯島 浩樹	浦野 岳人	
〈59 回生〉	米山 勉男	小林 哲男	大倉 幸雄	小松 正彦	猪井 秀彦	〈90 回生〉	望月 加奈	〈124 回生〉	
金子 道子	〈64 回生〉	小林 正秀	〈73 回生〉	薩摩林恭子	新澤みどり	池上 明雄	上條 美帆	花岡知夏子	
今井 潔	武井 省吾	小松 郁俊	マディーン啓子	中島 秀明	小野 博正	小河原一浩	山本 睦	〈127 回生〉	
金子 博厚	小口 壽夫	佐藤 良昭	小口 泰介	西村いづみ	寛 慎治	坂口 みほ	〈99 回生〉	宮坂 亮慶	
小松 巖	垣内 直	比田井昌英	窪田 敏	深井 宣子	北原 司	小濱 健一	鈴木 歩	〈128 回生〉	
中川 良平	小川 由英	高山 猛英	土橋 孝之	金子 恵子	倉田 重子	古村 雅利	宮澤 俊行	花岡 俊明	
中島 伸一	佐々木忠男	武村 光男	原 大	樋口 尚宏	中村 美穂	西瀬 祥一	〈100 回生〉	〈その他〉	
松下 勲	土橋 勝	中田 典昭	原 秀男	平出 美彦	松崎 任宏	古澤 博文	竹村 宏介	東京ざむし会	
〈60 回生〉	新村 恩	花岡 正	松田 光明	堀田 康之	宮澤 茂樹	矢崎 宏明	宮坂 大	松 本 支 部	
植松 峯夫	丸茂 峰宏	浜 照彦	宮坂 和生	宮坂 友英	三輪 晋一	〈91 回生〉	矢崎 貴久		
小川 浩史	宮澤 玄治	林 史章	柳田 恒男	〈78 回生〉	〈84 回生〉	原 実	〈101 回生〉		
小口 言人	森元 英俊	比田井和子	堀田 文昭	岩波 正恭	赤羽 武弘	藤森 完一	池田 玲子		
金井 浩	山田 勝俊	堀川 精一	山田 文雄	小尾 順子	小海 健治	藤森 裕司	金田さや香		
北原 本夫	横内 稔	真野 恒夫		河西 秀樹	今村 祐子	池田 美保	久保田智広		

◆篤志寄付者及び令和8年4月1日以降の一般寄付者につきましては、来年の会報に掲載させていただきます。

令和 7 年度同窓会報「学校だより」

令和 7 年 4 月 4 日、入学式（中高合同）が行われ、高校生 241 名（男子 112 名、女子 129 名）及び附属中学校 11 期生 80 名（男子 43 名、女子 37 名）が入学しました。

スーパーサイエンスハイスクールは認定枠 2 年目として同窓会、諏訪園学校理科教育振興基金、PTA など様々にご協力をいただき、課題研究や科学系クラブの探究活動を一層推進しました。また、クラブ活動、学友会活動にも清陵生らしく果敢に取り組み、各分野で素晴らしい成果を上げました。

10 月 18 日（土）には創立 130 周年記念式典を盛大に開催し、続く記念講演では 74 回生の岩本敏男氏を講師に迎え、生徒・職員とともに今後の社会の在り方について深く考えるきっかけをいただきました。

記念事業として、清陵会館の改修やマイクロバスの購入などを実施していただき、引き続き大切に活用させていただきます。

生徒の活躍を中心に、この 1 年間の学校の様子をお知らせします。（以下敬称略）

【高等学校運動系クラブ】

インターハイには陸上、端艇、そしてスケートが出場しました。国民スポーツ大会には端艇とスケートが出場しました。

■長野県高等学校総合体育大会の主な成績

<陸上>

- [男子] 100m：垣内 2 位、吉田 8 位
200m：垣内 2 位、吉田 6 位
400m：蔵前 2 位
走高跳：松木 6 位
4 × 100m：吉田・垣内・小川・蔵前 4 位
4 × 400m：小川・蔵前・飯山・垣内 3 位
八種競技：飯山 6 位
- [女子] 1500m：中西 10 位
棒高跳：赤羽 4 位
七種競技：松木 7 位

<端艇>

- [男子] シングルスカル：島田 2 位、齊藤 4 位
ダブルスカル：山田・堤 1 位、上田・今井 3 位、片山・物江 4 位
舵手付きクオドルプル：三原・石原・猪俣・青木・高野 2 位
- [女子] シングルスカル：青木 2 位
舵手付きクオドルプル：永田・名取・傳田・牛山・山岸 1 位

<硬式テニス>

- [男子] 団体：2 位
シングルス：野邊、小林、瀧本、神谷、日達、太田
ダブルス：稲葉・塩原、太田・神谷、小林・野邊、日達・宮坂
- [女子] 団体：2 位
シングルス：丸山、小池、宮坂
ダブルス：宮坂・小池

<ソフトテニス>

- [男子] 団体出場
個人：植松・小林

<バレーボール・男子>：ベスト 8

<ハンドボール・男子>：出場

<水泳>

- [男子] 50 m 自由形：高橋 7 位、神原
100 m 自由形：高橋 7 位、佐久間
- [女子] 400 m 自由形：河口 3 位
800 m 自由形：河口 2 位

■ブロック大会・全国大会等の成績

【北信越】

<陸上>

- [男子] 400m：蔵前 2 位
4 × 400m：小川・蔵前・吉田・垣内 1 位
- [女子] 棒高跳：赤羽 10 位

<端艇>

- [男子] シングルスカル：島田 6 位、齊藤
ダブルスカル：山田・堤 5 位、上田・今井 8 位、片山・物江
舵手付きクオドルプル：三原・石原・猪俣・青木・高野 7 位
- [女子] シングルスカル：青木
舵手付きクオドルプル：永田・名取・傳田・牛山・山岸 2 位

<硬式テニス>

- [男子] 団体出場
[女子] 団体：ベスト 8

<水泳>

- [男子] 50 m 自由形・100 m 自由形：高橋
[女子] 400 m 自由形・800 m 自由形：河口

【インターハイ】

<陸上>

- [男子] 400m：蔵前 出場
4 × 400m：小川・蔵前・吉田・垣内 出場

<端艇>

- [男子] ダブルスカル：山田・堤 準々決勝 3 着
[女子] 舵手付きクオドルプル：永田・名取・傳田・牛山・山岸 準決勝 6 着

【国民スポーツ大会】

<端艇>

- [女子] 舵手付きクオドルプル：青木（長野選抜）準決勝 4 着

■長野県高等学校新人体育大会等の主な成績

<陸上>

- [男子] 100m・200 m：吉田 1 位
400m・800 m：蔵前 1 位
5000m：小林 9 位・田畑 13 位
走高跳：松木 2 位
4 × 400m：飯山・蔵前・吉田・小川 2 位
八種競技：飯山 3 位・林 12 位
- [女子] 800m：中西 5 位
1500m：中西 7 位
400mH：小倉 5 位
走幅跳：寺島 11 位
やり投：松木 12 位
4 × 100m：寺島・小倉・松木・鈴木 8 位
4 × 400m：小倉・上野・飯嶋・寺島 6 位
七種競技：松木 2 位

<端艇>

- [男子] シングルスカル：島田 2 位、赤羽 7 位、須貝 8 位
ダブルスカル：片山・物江 2 位、岩崎・細川 4 位、神農・小平 5 位
舵手付きクオドルプル：三原・石原・青木・猪俣・栗山 1 位
- [女子] シングルスカル：小林 2 位
ダブルスカル：青木・大友 1 位、長沼・後藤 2 位

<硬式テニス>

- [男子] 団体：4 位
シングルス：小林ベスト 8、瀧本、小松、塩原、笠原
ダブルス：小林・瀧本、塩原・小松 ベスト 8、笠原・宮坂
- [女子] 団体：3 位
シングルス：田中、小坂、丸山、小池
ダブルス：丸山・小池 ベスト 8 田中・小坂

<ソフトテニス>

- [男子] 出場
個人：矢崎・岩崎

<バレーボール・男子>：出場

<ハンドボール・男子>：出場

<水泳>

- [男子] 50 m 自由形：高橋 8 位、岡田
50m バタフライ：宮下

100m自由形：高橋 7位
 100m平泳ぎ：神原
 200m自由形：高橋
 200m個人メドレー：神原
 400mフリーリレー：高橋・岡田・神原・宮下 6位
 200mメドレーリレー：宮下・神原・高橋・岡田 8位

<卓球>

[男子] シングルス：瀬澤
 [女子] 団体出場
 シングルス：山田

<サッカー>：出場

■その他の大会等の成績

<野球部>

選手権大会ベスト16、秋季大会4位

【高等学校文化系クラブ】

科学系クラブや音楽系クラブなど多くの文化系クラブが7年度も活躍しました。

特に生物部の小松和凜さん(2年)は日本学生科学賞で5位相当の科学技術政策担当大臣賞を受賞し、令和8年5月にアメリカ合衆国アリゾナ州フェニックスで開催予定の世界最大の科学コンテストであるISEF2026(国際学生科学技術フェア)へ派遣されることとなりました。

<音楽部>

○NHK全国学校音楽コンクール
 県大会金賞(金賞1位)、関東甲信越ブロック大会奨励賞

<吹奏楽部>

○長野県アンサンブルコンテスト県大会
 打楽器4重奏：銀賞、クラリネット7重奏：銀賞
 金管6重奏：銀賞

○中部日本個人・重奏コンテスト県大会
 サクソフォン3重奏：銀賞

<かるた部>

○第46回全国高校百人一首かるた選手権大会長野県予選
 団体：準優勝 全国大会出場
 個人(式段以上)：茅野 優勝 全国総文祭：出場

<写真部>

○第32回長野県高等学校写真展
 青木：奨励賞 倉田：展示

<古典ギター部>

○全国高校ギター・マンドリン音楽コンクール：優良賞
 ○県高校ギター・マンドリンフェスティバル：優秀賞

<フォークソング部>

○Power Live 2025K：(仮)審査員賞(ベスト16)
 ○Power Live 2025KF：ViVi特別賞(ベスト8)

<物理部>

○第7回長野県自然科学フェスティバル物理分野 最優秀賞
 ○NSC課題研究研修会「ポスター発表」アカデミック物理学賞

<化学部>

○日本学生科学賞優良賞
 ○第20回高校化学グランドコンテスト最終選考会ポスター賞
 ○信州サイエンスサミット参加

<生物部>

○第48回日本分子生物学会高校生研究ポスター発表出場
 ○日本植物学会第89回大会高校生研究ポスター発表会長賞
 ○第69回日本学生科学賞
 小松和凜 長野県予選：県知事賞
 中央最終審査：科学技術政策担当大臣賞

<天文学部>

○日本地球惑星科学連合大会：努力賞
 ○第6回長野県自然科学フェスティバル地学部門：優秀賞

<クイズ研究部>

○第45回全国高等学校クイズ選手権 高校生クイズ2025(日本テレビ)本戦出場
 ○AQL2025 甲信越北陸リーグジュニアの部：4位

<英語部>

○第32回長野県高校生英語ディベート大会
 ヘンダ(準備型) 全国大会進出
 ・長野県大会 優勝(2年生) 準優勝(1年生)
 ・中南信地区大会 優勝(1年生) 4位入賞(2年生)
 ・東海ブロック広域大会 優勝
 ・西日本メイクフレンズカップ(プレ大会) 優勝

【附属中学校】

中学生も様々な分野で力を発揮しました。中高合同で活動するクラブもあり、今後ますますの活躍が期待されます。

○県中学校総合競技大会

陸上競技 中学3年男子100m 小野1位
 (北信越大会、全国大会出場)

男子共通3000m 伊藤3位
 (北信越大会出場)

女子共通4種競技 大場8位

水泳競技 女子800m自由形 柳谷4位
 女子200m個人メドレー 柳谷6位

○長野県少年フェンシング大会男子フルーレ 熊谷3位

○全日本中学校通信陸上

男子共通4種競技 櫻井8位

○長野県中学校スキー大会

GSおよびSL 櫻井 入賞 (全国大会出場)

○長野県合唱大会県第92回H H K全国学校音楽コンクール県大会 音楽部 銅賞

○第77回全日本中学校英語弁論大会長野県大会 山崎2位
 (全国大会出場)

○第44回全国中学生人権作文コンテスト長野県大会

最優秀賞 牛山(全国大会 奨励賞)

優秀賞 上田 徳永

○少年の主張長野県大会 優良賞 武井

○長野県学生科学賞作品展覧会 優良賞 宮坂

○第73回長野県統計グラフコンクール

T B S賞 宮坂(全国 佳作)

長野県教育委員会賞 大和

信濃毎日新聞社賞 大場

○第52回長野県発明くふう展

関東経済産業局長奨励賞 大内

県知事賞 八鍬

長野県教育委員会賞 轟原



院長 菊池 俊樹

(83回生)

〒392-0021 諏訪市上川3丁目2314番地
 TEL: 0266-78-1045



こうのハートクリニック
 Kono Heart Clinic

〒392-0015 諏訪市中洲5680-1 Tel. 0266-78-5810

院長 河野浩貴(85回生)

実行委員会長賞 油井
○第 75 回全国小・中学校作文コンクール
佳作 芳賀 新井
○全日本学生・ジュニア短歌大会
生沼義朗選者賞 今村
○第 51 回ふる里自慢絵画コンクール
最優秀賞 両角

【学友会行事等】

学友会中心に全校参加の各種行事が令和 7 年度も無事に開催されました。清陵祭での同窓会展示や、湖周マラソンでの OB の走りから、清陵の伝統の重みと諸先輩の活躍を生徒たちは目の当たりにしました。

第 75 回清陵祭
7 月 4 日（金）～ 7 日（月） 約 4,000 名来校

端艇大会
9 月 1 日（月） 下諏訪町漕艇場
湖周マラソン
10 月 23 日（木） 諏訪湖周約 16 キロ
清陵オープンスクール
3 月 24 日（火） 部活動体験会
3 月 27 日（金） 清陵生との交流会
両日程、清陵内外の中学 1 年生～ 3 年生を対象に実施し、多くの中学生に清陵を知っていただく機会としました。

令和 8 年 3 月 3 日（火）に第 78 回卒業証書授与式が行われ、232 名（男子 129 名、女子 103 名）が学び舎を後にしました。（129 回生）
卒業生の進路状況は別表に示したとおりです。

令和 7 年度末 教職員人事異動

転・退職職員

高校		
教科等	氏 名	異動先等
教頭	白木 貴仁	高校教育課 管理係
地歴公民	唐澤 等	塩尻志学館高等学校
地歴公民	野村 一寿	松本美須々ヶ丘高等学校
地歴公民	大森 俊司	岡谷南高等学校
数学	川口 陽司	中信教育事務所 学びの共創課
数学	馬場 裕介	岡谷南高等学校
理科	横沢 喜文	退職
保健体育	小林 蓮	飯田 OIDE 長姫高等学校 定時制
英語	折井絵里香	岡谷南高等学校
家庭	為田佳奈子	塩尻志学館高等学校
養護	林 幸子	箕輪進修高等学校（Ⅰ・Ⅱ部）

附属中学

教科等	氏 名	異動先等
副校長	宮沢 和紀	義務教育課 管理係
理科	石井 俊彦	東信教育事務所 学びの共創課
英語	飯田 哲弥	総合教育センター 教科教育部
養護	柳澤 由紀	岡谷市立岡谷南部中学校

事務

教科等	氏 名	異動先等
専門幹	丸山 光浩	岡谷工業高等学校
主事	宇都宮里緒	下諏訪向陽高等学校

新 任 職 員

高校		
教科等	氏 名	前任校等
教頭	佐久 浩信	学びの改革支援課 高校教育指導係
地歴公民	立木 雅彦	富士見高等学校
地歴公民	足助 勇気	岡谷東高等学校
数学	寺島 諒将	上田染谷丘高等学校（初任）
数学	味澤 秀治	岡谷南高等学校
理科	有岡 淳	諏訪市立諏訪西中学校
保健体育	行田 潤	（非常勤）
保健体育	清水 一央	（非常勤）
英語	金井 親志	茅野高等学校
家庭	河端 奈美	（非常勤）
養護	山田美佐希	松本深志高等学校

附属中学

教科等	氏 名	前任校等
副校長	宮下 卓也	高森町立高森南小学校
理科	宮下正由輝	下諏訪町立下諏訪中学校
英語	松澤 優衣	白馬村立白馬中学校
養護	木下 早苗	岡谷市立岡谷南部中学校

事務

教科等	氏 名	前任校等
事務長補佐係長	山本 政典	高遠高等学校
校用業務員	佐藤 水男	
就学支援金事務補助員	門脇 順子	

消化器科・内科

清水クリニック

院長 清水俊樹（86 回生）

諏訪市湖岸通り 5-13-18
TEL 0266-78-1625
FAX 0266-53-1635

内科・小児科・胃腸科
在宅医療・訪問診療・往診
まつもと 医療法人 松本医院

院長 松本宙明（88 回生）

休診日：毎月第 2・第 4 木曜日、日曜日、祝日、年末年始
〒392-0007 長野県諏訪市清水 2-4-12 TEL.0266-52-3247

令和7年度(2025年度)入試結果(令和8年4月現在)

卒業生数: 232名 進学者数: 186名 就職者数: 2名 進学率: 80.2%

国立大学

大学名	現役	既卒	合計
北見工業	1		1
北海道	1		1
東北	4	2	6
茨城	4		4
筑波	5	1	6
埼玉	1		1
千葉	2		2
東京	4		4
東京学芸	2		2
東京農工	1		1
一橋	1		1
横浜国立	3		3
上越教育	2	1	3
新潟	3	1	4
富山	2	3	5
金沢	2		2
福井	1		1
山梨	3	1	4
信州	15	1	16
岐阜	1		1

大学名	現役	既卒	合計
静岡	1		1
愛知教育	1		1
名古屋	2	1	3
京都		1	1
神戸	2		2
大分		1	1
宮崎		1	1
琉球		1	1
国立大学合計	64	15	79

公立大学

大学名	現役	既卒	合計
秋田県立	1		1
茨城県立医療	1		1
高崎経済	4	1	5
埼玉県立	1		1
東京都立	3		3
横浜国立	1		1
長岡造形	2	1	3
富山県立	1		1
公立小松	1		1

大学名	現役	既卒	合計
都留文科	1		1
長野	1		1
諏訪東京理科	2		2
静岡県立	2		2
京都府立	1		1
神戸市外国語	1		1
山口東京理科		1	1
東北農林専門職大学	1		1
公立大学合計	24	3	27

国公立大学計	88	18	106
--------	----	----	-----

医学部医学科

大学名	現役	既卒	合計
岩手医科		1	1
東北医科薬科		1	1
自治医科		1	1
東海		1	1
新潟		1	1
富山		2	2
信州	2	1	3

大学名	現役	既卒	合計
愛知医科		1	1
琉球		1	1
計	2	10	12

私立大学

大学名	現役	既卒	合計
岩手医科		1	1
東北医科薬科		1	1
国際医療福祉	3		3
自治医科		1	1
獨協	1	2	3
文教	1	1	2
SBC 東京医療	1		1
千葉工業	7	6	13
千葉商科		3	3
青山学院	2	1	3
桜美林	4		4
大妻女子	1		1
学習院	1		1
北里	7		7
杏林	1		1



大好評！4つのサービスまとめておトク！

ひかりテレビ
BS4K放送対応
ご自宅のどのテレビでも
アンテナ・STB不要で
BS放送が視聴可能！

ひかりインターネット
最大10Gbps
※ベストエフォート
諏訪地域最速の超高速コース！

ひかり電話
基本料・通話料が
おトク！
スマホとのおトク割

A I 防犯カメラ
A I カメラが自動で
検知し録画
設置工事・サポートは LCV に任せ！



エルシーブイ株式会社



0120-123-833 電話受付/9:00~17:30

https://www.lcv.jp/ 《本社》〒392-8609 長野県諏訪市四賀821



太陽工業株式会社

精密加工業界の
リーディングカンパニー

(太陽工業グループ)

代表取締役社長 小平直史(88 回生)

会社所在地

- 本社工場/
〒392-8585
長野県諏訪市四賀107
☎0266-58-7000
- 諏訪南工場/
茅野市金沢3410-10
- テクノロジーセンター棟/
茅野市金沢3410-5
- 豊平工場/茅野市豊平 1528

業務用システム導入から運用まで、安心フルサポート
DX 化のご相談も承ります。

ソフトウェア開発 / システムコンサルティング

アルティメイトプロジェクト株式会社

代表取締役会長 松崎 洋 (66 回生)
代表取締役社長 中村 仁紀

本 社 〒392-0021 長野県諏訪市上川2-2173-5
TEL0266-52-9458 FAX0266-52-9601
東京センター 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-1-2
ワークスタリング東京ミッドタウン日比谷
TEL03-5418-7658



HPはこちら

大学名	現役	既卒	合計
慶應義塾	3	2	5
國學院	2		2
国士舘	2	1	3
国際基督教	1		1
駒澤	4	2	6
実践女子	2		2
芝浦工業	6	1	7
順天堂	7		7
上智	3		3
昭和女子	1		1
女子美術	6		6
成蹊	4		4
聖路加国際	1		1
専修	12	2	14
創価		2	2
大正	1	2	3
玉川	3		3
中央	8	1	9
津田塾	1		1
東海		4	4
東京家政	1		1

大学名	現役	既卒	合計
東京工科		3	3
東京女子	1		1
東京農業	2	1	3
東京薬科	2		2
東京理科	4	8	12
東邦		1	1
東洋	12	3	15
日本	6	3	9
日本社会事業	1		1
日本女子	1		1
日本獣医生命科学大学		1	1
法政	8	1	9
星薬科	1		1
武蔵野	2		2
武蔵野美術	1		1
明治	12	5	17
明治学院	5	4	9
明治薬科	1		1
明星	1	1	2
ヤマザキ動物看護大学		1	1
立教	7		7

大学名	現役	既卒	合計
早稲田	12		12
神奈川	5		5
神奈川工科	1		1
横浜薬科	1		1
金沢工業	5		5
松本	4	2	6
松本歯科		1	1
岐阜医療科学	3		3
静岡理工科	1		1
常葉	1		1
愛知	2		2
愛知医科		1	1
椋山女学園	1		1
中京	1		1
中部		2	2
南山	1	1	2
藤田医科	3		3
名城	2	1	3
京都芸術	1		1
京都精華		1	1
京都女子	3		3

大学名	現役	既卒	合計
同志社	6	1	7
立命館	5	4	9
大和	1		1
関西	1		1
関西学院	3		3
近畿		1	1
摂南	1		1
私立大学合計	228	80	308

専門各種学校

学校名	現役	既卒	合計
長野県福祉大学校	1		1
長野県農業大学校	1		1
諏訪赤十字看護	1		1
日本芸術専門	1		1
松本技術専門校	1		1
専門各種学校合計	5	0	5



りんごの会
軽送サポート



太田屋
松本・岡谷・諏訪・長野・佐久・伊那
諏訪市中洲5723-3 Tel.0266-54-3555

代表取締役社長 太田 博久 (86回生)



太田屋 3Dホール



えこうホール岡谷 さくら館 えこうホール赤砂 えこうホールみずべ えこうホール諏訪 えこうホール諏訪 やすらぎ館

「便利な商品」を「お求めやすい価格で」



メガネのナガタ

代表取締役 永田 滋弘 (88回生)

株式会社メガネのナガタ

〒392-0012
長野県諏訪市大字四賀2323



自然の恵みをお届けします。



世田谷自然食品

代表取締役社長 河西英治 (75回生)



地区支部だより

	関西支部	東海支部	東京支部（東京清陵会）	松本支部	上伊那支部	北信支部
支部役員	支部長：藤森廣幸（70回） 副支部長：小林悟郎（56回） 山田正幸（59回） 岡田敏史（63回） 小池千代枝（64回） 監事：篠原明彦（69回） 北原幸一（70回） 相談役：小坂祥造（63回） 土橋勝（64回） 顧問：花岡正（69回） 事務局次長：名取和一（75回） 幹事：小松文吉（56回）松木本興（61回）鈴木勝（64回） 小池豊二（70回）窪田昭男（71回）植松高志（72回）花岡正浩（76回）関 聖（83回） 間部陽一（83回）小林健児（87回）青沼仁志（88回）黒澤弘之（94回）西出あすか（94回） 藤森賢也（94回）	支部長：今井安榮（67回） 副支部長：細田正昭（65回） 小島一彦（73回） 事務局次長：今井啓雄（89回） 小河原一浩（90回） 事務局次長・女性部長（兼務）：敦賀不二佳（89回） 顧問：太田龍朗（61回） 会計監査：鶴巻健彦（63回）	会長：両角寛文（78回） 副会長：有賀一温（75回） 石埜穂高（78回） 米澤あ子（80回） 北原譲（82回） 細田明（86回） 会計幹事：小海健治（84回） 監査幹事：青木基浩（82回） 事務局次長：吉中宏子（89回） 副事務局次長：武田正利（86回） 佐藤美智子（88回） 事務局幹事：岡本徹（83回） 赤羽俊昭（84回） 清水信次（84回） 荒木健太郎（99回） HP 担当：矢崎晴俊（87回） DX 委員：小松文美（91回）	支部長：堀川精一（69回） 副支部長：矢崎幹明（71回） 幹事長：吉田利幸（74回） 会計：竹中優之（88回） 会計監査：野口義輝（69回） 女性部長：北原薫（86回） 常任幹事：川上隆（72回） 原恵二（73回） 竹内達也（74回） 藤森秀彦（85回） 両角仁志（87回） 常任幹事・DX 委員：山岡史明（91回） 顧問：小林治雄（65回）	支部長：赤羽博（78回） 副支部長：川島 弘（73回） 相談役：伊藤隆一（58回） 大森尚人（68回） 加島範久（70回） 幹事長：加藤恒男（86回） 会計：福島正寿（80回） 事務局：平泉規（94回） 幹事：長谷川茂夫（60回） 根橋義太郎（71回） 武居保男（80回） 茶城啓二（86回） 中村海基（92回） 古村慎二（92回） 中谷俊貞（94回）	支部長：守屋正造（82回） 副支部長：畑谷広治（79回） 樋代章平（86回） 伏見清彦（92回）
事務局連絡先	〒560-0011 豊中市上野西2-11-61 TEL：090-5019-9789 Email: antimarck@yahoo.co.jp	〒482-0034 岩倉市石仏町市ノ坪19番地ラ・グランデールセルビエ603号 TEL：090-6642-3445 Email：hisi19y@docomo.ne.jp	Email: tokyoseiryokai2017@gmail.com	〒390-0841 松本市清 4-1-25-704 TEL：090-1869-5791 FAX：0263-27-0318 Email: horisei@violet.plala.or.jp	〒399-0422 辰野町平出2174-2 TEL：090-1657-1837 Email: tadashi@hiraizumi.biz	〒381-0034 長野市大字高田364番地1 社会福祉法人 長野県社会福祉事業団 本部事務局 TEL：090-2322-8811 Email: moriya-masanari@nagano-swc.com
直近の支部総会	日時：令和8年3月29日（日） 場所：ホテルプラザオーサカ 出席者：40名 内容： 第29回関西支部総会 ・講演会「卒業後の清陵校歌との出会いー伊藤長七伝、中島喜久平伝再刊の功績ー」 演者 名取和一（75回生） ・総会 支部長、同窓会長、事務局次長、副会長、担当学年幹事等 挨拶 議案書審議ー令和7年度活動報告、決算書、年度令和8活動計画、予算、役員 懇親パーティー（福引）、第一、第二校歌斉唱、集合写真撮影	令和7年8月2日（土） 場所：名古屋・ホテルメラルク NAGOYA 出席者：23名 内容： 1. 特別講演：「化学メーカーに勤め思うこと」 講師：鮎澤茂氏（88回生） 東亜合成（株）部長 2. 来賓挨拶：本部長 今井竜五氏（74回生）、校長（名誉会長）倉澤克弥氏（89回生） 3. 会計報告及び支部議案審議 4. 懇親会：乾杯挨拶のあと恒例の全員スピーチ “今年1年について” ・往年の「談話会」を彷彿とさせる全員相互のやり取りの後「日本ー長い校歌」で終了	令和7年10月5日（日） 場所：喜山倶楽部（日本教育会館9F） 出席者：122名（会場：98名・リモート：24名） 内容： 総会・記念講演会・懇親会／オンライン併用のハイブリッド開催／当番幹事92回生 ■総会：令和6年度 事業報告／決算・令和7年度 事業計画／予算（案） ■記念講演会：講演「伝統産業と資本主義ー諏訪味噌の観点からー」 講師：92回生 藤森伝太 特別企画：「コーヒーの楽しさー知って、味わって、愉しむ方法ー」 講師：92回生 内山修二 母校連携活動報告／DX推進委員会 ■懇親会：参加費8,000円 PR タイム／各種活動報告 PR：日本酒「真澄」107回生 宮坂勝彦／クラフトジン116回生 小口潤	令和7年11月15日（土） 場所：ホテルモンターニュ松本 出席者：17名 内容： ・倉澤学校長、今井同窓会長、小尾同窓会女性部長、高木前同窓会事務局次長から挨拶 ・支部間交流：田村茅野支部長から挨拶・報告 ・令和6年～令和7年期の活動報告・決算報告・監査報告 ・令和7年～令和8年期の事業計画・予算案 ・自己紹介・記念撮影 ・懇親会	令和8年4月18日（土） 場所：たつのパークホテル 出席者：30名 内容： ・議事 ①令和7年度会務報告及び会計報告 ②令和8年度事業計画及び予算 ③役員の改選について ・記念講演 講師：NTT Risk Manager 代表取締役社長 ーノ瀬勝美 ・懇親会	令和7年11月27日（木） 場所：ホテル信濃路 出席者：50名 内容： 同窓会から岩波寿亮同窓会副会長・倉澤克弥校長、高木保夫前事務局次長、学校から倉澤克弥校長の出席をいただき開催。 ・支部長挨拶 ・来賓挨拶（岩波寿亮同窓会副会長・倉澤克弥校長） ・DXへの取組みについて（小尾順子同窓会副会長兼女性部部長） ・幹事報告（支部事業及び会計について） ・懇親会 挨拶（宮下克彦県議会議員、垣内将邦県議会議員、小松裕元衆議院議員） ・校歌斉唱（第一、第二全歌詞） ・総会幹事引き継ぎ（校旗引き継ぎ、新旧幹事代表あいさつ） ・万歳
前年度活動	ゴルフ部会：11/26（水）ー城陽カントリー倶楽部西コース 参加者9名 歩こう部会：「伏見桃山陵の静寂の森を歩く」11/24（月・休日） 参加者11名 カルチャー部会：カラオケ懇親会・カラオケパブ タ（ゆう） ・8/23（土）参加者6名 ・12/14（日）参加者6名 ・3/15（日）参加者6名 広報部会：第36号（2月1日）を発行済み 184名 支部役員会：11/1（土）12-14 ホテルプラザオーサカ 12名 一支部の活性化、会報原稿依頼	令和7年5月17日（日） 役員会（中ビル3F） 令和7年6月21日（土） 本部総会 令和7年7月19日（土） 役員会（千種メラルク） 令和8年1月17日（土） 役員新年会及役員会（金山駅内店）	令和7.7月 幹事会／令和7.11/ 令和8.4月 事務局会議 令和7.4/6/8/10/12/ 令和8.2/4/6月 第207～214回清陵勉強会 令和7.10/ 令和8.4月 東京清陵会ゴルフコンペ（紫CC/ 猿島CC） 令和7.7月 長野県東京同窓連総会（アルカディア市ヶ谷） 令和7.8月 会報「東京清陵会だより」第36号発行 令和7.10月 第59回定期総会（喜山倶楽部） 令和7.11月 女性部イベント「街歩き」～日暮里界隈編～ 令和7.12月 92回生→93回生引継ぎ会／南信同窓連忘年会（新宿三平） 令和8.1月 日本酒同好会（青山「否否三杯」） 令和8.2月 会報編集会議 令和8.3月 ミドル交流会（渋谷 Sam's Bar Tokyo）	・令和7年8月18日 支部三役会（DX委員選定等） ・令和7年9月6日 支部役員会（支部総会準備） ・令和8年3月14日 支部役員会（活動方針検討）	・支部役員会 令和8年2月5日（令和8年度支部総会日程等の検討） ・支部役員会 令和8年3月11日（令和8年度支部総会の細部打合）	1. 北信支部役員会（令和7年7月31日） 2025年度総会の開催について協議した。当初は8月ころの開催としていたが、例年通りの時期に開催することを確認。具体的な開催日調整は幹事に一任した。 2. 2025年度北信支部総会（令和7年11月27日） 前記のとおりのとおり
今年度の計画	ゴルフ部会：未定 歩こう部会：春は「大和郡山城周遊」予定 カルチャー部会：カラオケ懇親会、映画鑑賞会等を計画 広報部会：令和9年2月初旬に会報を発行予定 支部役員会：必要に応じて秋に開催予定	令和8年8月1日（土） 第41回東海支部定期総会及懇親会 「ホテルミュースタイル 犬山エクスベリエンス」 本年は犬山で開催します。 犬山駅西徒歩1分 懇親会は「庭園パーベキュー」でやります！	・事務局会議／幹事会開催 ・会報「東京清陵会だより」第36号発行、第60回定期総会開催 ・清陵勉強会、ゴルフ会開催 ・ミドル交流会、その他懇親会開催 ・女性部各種イベント開催 ・本部同窓会／南信同窓連／長野県東京同窓連活動への参加 ・母校連携／生徒との交流推進（キャリア講演会・大学模擬授業講師派遣／企業見学） ・会員情報管理の高度化とDXの推進、130周年事業への参画 ・ホームページやSNSの積極的な活用と利用拡大 ・第60回定期総会は、2026年10月4日（日）喜山倶楽部での開催を内定	・支部総会 令和8年10月31日（土） ホテルモンターニュ松本 ・支部役員会（随時）	・支部総会 令和9年4月頃 ・支部役員会 必要に応じ開催	1. 支部役員会 令和8年8月に開催し、2026年度北信支部総会の開催について協議を行う。 2. 2026年度北信支部総会 1の支部役員会で開催概要を決定し、北信地域の同窓生の連帯感の醸成と連携の強化を目的として、支部全会員を対象に開催する。

	原支部	富士見支部	茅野支部	諏訪支部	下諏訪支部	岡谷支部
支部役員	支部長：藤原光郎 (75 回) 副支部長：阿部泰和 (77 回) 顧問：小林貢三郎 (52 回) 清水澄 (57 回) 堀内元長 (62 回) 荒木桂男 (63 回) 荒木敬悦 (72 回) 女性部：小松志穂 (103 回) 事務局：伊藤証 (84 回) 会計監査：津金敏三 (73 回) 五味正成 (83 回)	支部長：五味公守 (74 回) 副支部長・副会長：川合弘人 (76 回) 齊藤眞澄 (78 回) 監査・相談役：飯田幹夫 (69 回) 事務局長：雨宮左京 (83 回)	支部長：篠原敏 (74 回) 副支部長：樋口尚宏 (77 回) 宮下真美 (86 回) (兼女性部長) 事務局長：矢嶋浩行 (88 回)	支部長：宮下克彦 (80 回) 副支部長：小松弘明 (82 回) 事務局長：百瀬淳一 (80 回) 広報局長：阿部洋典 (80 回) 事務局次長：平島孝人 (81 回) 会計：田中達也 (81 回) 女性部長：小口理子 (84 回) 監事：平林隆夫 (78 回) 坂本純 (79 回) 相談役：石城正志 (78 回) 河西秀樹 (78 回)	支部長：山田孝實 (72 回) 副支部長：濱克典 (74 回) 野村光夫 (75 回) 女性部長：井上喜久美 (80 回) 事務局：新村浩一郎 (77 回)	支部長：宮坂好史 (75 回) 副支部長：河西一彦 (79 回) 今村祐子 (84 回) 河西明 (85 回)
事務局連絡先	〒 391-0100 諏訪郡原村 10115-2 TEL：090-9660-4950 Email：qqvw8ux9k@lime.ocn.ne.jp	〒 399-0214 諏訪郡富士見町落合 12023-2 TEL：0266-62-7373 FAX：0266-62-7373 Email：qyf00272@nifty.com	〒 391-0011 茅野市玉川 5694 TEL：090-9664-2599 Email：yajima.hiroyuki@gmail.com	〒 392-0012 諏訪市四賀普門寺 339 TEL：090-4383-2574 Email：momose@taiyo-ind.co.jp (mms339@po7.lvc.ne.jp)	〒 393-0015 下諏訪町立町 3538 TEL：0266-27-2285 FAX：0266-27-2285 Email：niimura@alles.or.jp	〒 394-8611 岡谷市郷田 2-1-8 諏訪信用金庫内 TEL：0266-78-8825 FAX：0266-24-4055 Email：jinjibu@suwashinkin.jp
直近の支部総会	令和 7 年 11 月 1 日 (土) 場所：文化園内デリ & カフェ「K」 出席者：27 名 内容：倉澤校長、今井同窓会長、高木事務局長、河西事務局、小尾女性部長、田村茅野支部長をお招きして原支部総会を開催しました。 講演会は、五味聖氏 (93 回生) の「皇居三の丸尚蔵館の活動と収蔵物について」でした。	令和 8 年 2 月 21 日 (土) 場所：JA 会館ふじみ 出席者：約 40 名 内容：令和 7 年度事業・会計報告 講演会：講師 佐野 隆氏 (北杜市茅ヶ岳歴史文化研究所主任調査員) 演題：21 世紀の縄文農耕論～縄文中期の生業研究の現在～ 懇親会	令和 8 年 2 月 8 日 (日) 場所：マリオローヤル会館 出席者：60 名 内容：本校同窓会今井会長挨拶及び会務報告：河西同窓会事務局、学校からの近況報告：倉澤学校長 女性部報告及び DX 推進部会連絡等：小尾女性部長 講演会：演題「新しい歴史教育を設計する」 講師：長野県伊那弥生ヶ丘高校教諭 小川幸司先生 (88 回生) 懇親会	令和 7 年 11 月 7 日 (金) 場所：ホテル紅や 出席者：134 名 内容：○支部総会 会務及び会計報告 ○講演会 演題「夢への過程」を作る 講師：野明 (上原) 三枝 (93 回生) 野明花菜 (ミラノ・コルチナオリンピック女子チームバシユート銅メダル) さんのお母さん ○懇親会	令和 7 年 6 月 14 日 (土) 場所：ぎん月 出席者：約 20 名 内容：・令和 6 年度事業報告、決算報告 ・令和 7 年度事業計画、予算案 ・懇親会	令和 8 年 2 月 26 日 (木) 場所：メモリー (岡谷市中央通り) 出席者：53 名 内容：・支部長挨拶 ・来賓祝辞 (倉澤学校長・今井同窓会長・小尾同窓会副会長女性部長) ・令和 7 年事業報告・決算報告 ・講演会 講師：伴野豊さん (79 回生) 駒ヶ根シルクミュージアム館長 農学博士 演題：「進むカイコからのワクチン・創薬開発」
前年度活動	令和 7 年 9 月 30 日にデリ & カフェ「K」にて役員会を開催し、支部総会の打ち合わせをしました。	令和 7 年 11 月 15 日：役員会 (地区役員会、総会、講師、年会費について) 令和 8 年 1 月 17 日：地区役員会 (事業会計、総会、年会費徴収について) 令和 8 年 1 月 17 日：会報発行 令和 8 年 2 月 21 日：定期総会 随時：物故者弔問	令和 7 年 11 月：支部幹事会開催 (支部総会開催等について) 令和 8 年 2 月 8 日 (日)：支部総会開催 令和 8 年 5 月 (予定)：支部幹事宛本部総会の通知及び出席取りまとめの依頼	令和 7 年 7 月 24 日 令和 7 年度第 2 回役員会 令和 7 年 9 月 9 日 第 3 回役員会 (総役員) 令和 7 年 10 月 25 日 第 4 回役員会 令和 7 年 10 月 31 日 総会 最終準備 令和 8 年 4 月 第 5 回役員会兼引継及び令和 8 年度第 1 回役員会	役員会 (2 回実施)	・正副支部長会 令和 7 年 12 月 16 日 (火) ・支部役員学年幹事会 令和 8 年 1 月 23 日 (金)
今年度の計画	令和 8 年度 原支部総会を 11 月頃に開催しますので、多くの方のご参加をお願いします。	令和 8 年 11 月 役員会 令和 9 年 1 月 支部幹事会、会報発行 令和 9 年 2 月 定期総会 随時：物故者弔問	令和 8 年 11 月：支部幹事会 (支部総会について) 令和 9 年 1 月：支部幹事会 (支部総会について) 令和 9 年 2 月：支部総会開催 令和 9 年 5 月：支部幹事宛本部総会の通知及び出席取りまとめの依頼	支部総会 (予定) 令和 8 年 11 月 6 日 (金) 18 時 ホテル紅や 講演会は 94 回生が企画	・支部総会 ・令和 8 年 5 月 16 日 (土) ぎん月 ・18 時より 支部総会 ・19 時より 懇親会	・正副支部長会 ・支部役員学年幹事会 ・支部総会 ・今後も若い世代や女性会員にも声がけを行い、幅広い世代が参加できる支部活動を目指していきます。

学年会短信

<52回・55回> (双樹会)

この学年会は349人の学制改革期の2回入学・特別・女子なしの同窓生の集まりでした。定年期前は、5年に一回の総会で地元の人たちが、よく連絡しあって恩師のご参加も得て全体会数回を実施してくれました。

定年期後は、林尚孝氏が同窓会長を引き受け、2005年(平成17年)同窓会名簿作成・新校舎建築時の学年会幹事など、活発な活動が展開されました。この名簿には3頁にわたる双樹会宣伝広告を載せ、東京・諏訪の二ヶ所で月例会を続けると内外に公表しました。以来まさに創意・熟達の取り組みが展開され、そしてその流れが今日に至っています。東京・諏訪月例会は今でも二ヶ所で続いているが、だんだん少人数になっています。小生は諏訪地方で行われた行事は全て出席してきたと記憶していますが・・・正しい記録は見当たらない・言葉の伝言の思い出でした。

総会や月例会では、自作の「書・画の公開展示会」「ゴルフコンペ」を数回、「清陵高校校歌」「信濃の国・県歌」「諏訪郡歌」などの解説や検討、大声挽歌が行われました。「市峠の散策ピクニック」「ふるさと探訪バス運行」などは、郷土愛を高め、風土、地質などの理解を深める取り組みでした。俳句の交流、顕彰も行われました。さらに、「夫婦同伴蓼科大集合」「静岡バス旅行」「双樹会データバンク刊行」「東京清陵会名簿」など、様々な創意ある熟達した取り組みが行われました。

この学年会「双樹会」は、全員が92歳を超え、高齢の学年になっています。声の掛け合いがなければ会は成立しません。近頃学年幹事千葉春男氏病弱につき、名目だけの55回幹事五味が代表して、会の豊かな取り組みと同窓会内外に敬意と感謝を表明しつつ、報告とします。

(55回生学年幹事 五味省七)

<63回生> (63会)

昨年、63会を参加41名で開催しました。

開催日時 令和7年10月28日(火)

11時30分(受付開始)～14時50分

会 場 割烹 仙岳 諏訪本店

今年も63会を開催します。

開催日 令和8年10月28日(水)

会 場 割烹 仙岳 諏訪本店

案内は、8月下旬、ハガキで連絡します。

(63回生学年幹事 牧 成治)

<65回生>

1、同年会について

昨年の同年会は10月8日(水)に開催しました。昼の部の「ボート乗艇」には6名、「西街道筋散策」には12名が参加、メインの「懇親会」には21名が参加しました。

東北・関東・中京地区の県外からの参加者も数名あり、お互いの近況などを報告しあいながら旧交をあたため、おおいに盛り上がりました。

今年も秋に開催する予定です。当番幹事は5・6・7部です。開催日時・場所等の詳細については、夏頃には連絡しますので、多数の参加をお待ちしています。

2、「八日会」について

諏訪地域在住の65回生有志が集まっての飲み会である「八日会」は、引き続き実施しています。毎月8日の午後6時30分から上諏訪駅前の「いずみ屋」で固定開催していますので、気軽に参加してください。諏訪地域在住者以外でも諏訪へ来た際にはぜひ顔を出してください。

(65回生学年幹事 青木成雄 0266-53-0072)

<67回生> (麓七会)

令和7年(2025年)4月23日に「麓七会 傘寿の集い」と題して10年ぶりに同期会(麓七会)を岡谷市のライフプラザマリオで31名が参加し開催しました。(参加予定者のうち、数名が体調不良等で参加出来ず、残念でした)

校歌斉唱(第二校歌まで全て歌えました)、物故者に黙とうし開宴。

近況報告などで楽しく盛り上がりました。

閉会後は各クラスに分かれて二次会。

「次回は米寿で!」との声もありましたが…。

(67回生学年幹事 今井大二)

<68回生>

我々は今年度で傘寿(80歳)です。最後の学年同窓会を下記により開催いたしますので、多数の皆さんの参加をお願いします。

・日時 令和8年6月27日(土) 午後6時

・場所 諏訪市湖岸通り5-17-7 中国料理紅蘭

・会費 3,000円

・TEL 0266-58-1443 FAX 0266-52-5177

(68回生学年幹事 矢沢昭三 0266-58-1443

akijiyazawa@gmail.com)

<69回生> (無垢の会)

『皆さん集まって、大いに飲んで、大いに語ろう!』

下記の行事の詳細は、メール・はがき等で通知します。

①親睦ゴルフ

85歳まで、120回開催に向けて皆で健康で頑張りましょう。

第101回:4月22日(水)／第102回:6月24日(水)／

第103回:9月2日(水)／第104回:11月11日(水)

会場 フォレストカントリークラブ三井の森

担当 小口憲司(090-3063-5871) okenji@pol11.lcv.ne.jp

②東京支部総会終了後の懇親会

日時 10月4日(日) 午後5時より

場所 未定(別途連絡します)

担当 比田井昌英(090-2545-7038)

masahide.takahidai@gmail.com

③「功刀正行邸」夏の集い(ホームパーティー)

日時 8月10日(月) 午後6時より

場所 諏訪市岡村「功刀正行」邸

担当 功刀正行(090-2223-9604) hqh02532@nifty.ne.jp

岩波寿亮(090-4010-4644) iwanami@swatec.co.jp

(69回生学年幹事 矢澤 博 090-3312-1469

hiro.yaza.8974@gmail.com)

<73回生> (なみの会)

語呂合わせで「なみの会」と称しているわれわれ73回生は2025年10月18日(土)に、8回目となる同期会「なみの会73・73の集い」を開きました。73回生が今春ですべて73歳になったことにちなむタイトルで、初めて諏訪市を離れ、茅野市の「マリオ・ローヤル会館」で55人が旧交を温めました。

その一方で、すでに亡くなった仲間は44人を数え、冒頭、校歌の曲調をアレンジした追悼メロディーが流れる中、在りし日を偲んで黙祷しました。

かねて同期会では、宴席の飲み食いとどまらない企画を工夫してきました。今回は、同期生で事務局長の山田雄一君を講師に立てた一般公開(入場無料)の講演会「スポーツ報道の喜怒哀楽」を、懇親会に先立ち、同じ会場で開きました。

山田君は朝日新聞社で長らくスポーツ報道に携わり、退職後の現在は長野日報で隔週連載のコラム「語ろうスポーツ」を担当していて、経験に基づいた豊かなスポーツ談議に、来場された約100人の方たちが熱心に耳を傾けていました。

次回の同期会は、数えて喜寿となる来年の開催を予定しています。

(73回生学年幹事 松木敏博)

<76回生> (あす76 (なろ) 会)

76 回生は「あす 76 会」という、会のロゴをプリントした T シャツとポロシャツを作り、一昨年の出雲旅行では 21 人が T シャツ、ポロシャツを着て臨みました。また、一昨年から同期 7～10 人で、リレーマラソン大会に T シャツを着て参加しています。

T シャツは背中に大きく「校章」と「自反」の文字がプリントされているので、同窓生に声をかけられることがあります。諏訪湖マラソンで声をかけられるのは当然として、同期の一人が札幌の 10 キロレースに着て出た時に、出場者の女性から清陵ですかと声をかけられたり、国立競技場で行われたリレーマラソンでも声をかけられました。故郷を離れて東京などに来ている卒業生にとって、普段は忘れていた「校章」と「自反」の言葉を目にする懐かしくなり、つい声をかけてしまうのかもしれませんが。我々としては非常に嬉しい限りです。また、70 歳を超えて多人数と一緒に走れることは、生きてい実感できて嬉しいし、楽しい集いです。



リレーマラソンは、今年 5 月に参加予定の「くにたちリレーマラソン」で 5 回目になりますが、こちらも続けられるだけやっと思っています。

会報をご覧の 76 回生の皆さん、同期旅行やリレーマラソンに参加してくれる方がいらっしゃいましたらお申し出ください。

(76 回生学年幹事 東京清陵会 関屋孝行
taka.seki55@gmail.com)

<77回生>

77 回生の皆さん、4 部の山崎義夫と申します。今まで、学年幹事を務めて頂いた長田光正君から役を受け継いで、令和 8 年 1 月から新たにその任を担わせていただく事になりました。

長田君には、卒業以来 52 年間もの長きにわたって学年幹事の重責を担って頂き、皆を上手に纏めて頂いた事に心から感謝致します。これからも、長田君が築いてくれた絆を基礎にして、77 回生の皆さんが楽しく集える機会をできるだけ多く作っていきたいと思っています。皆さん、どうぞ宜しくお願い致します。

(77 回生学年幹事 山崎義夫)

<79回生>

来年は、いよいよ古希を迎えるにあたり、学年同窓会を開催します。6 部の高橋則広君が実行委員長として、東京支部のみんなを中心に頑張って準備してくれています。日程は 9 月中旬の土曜日ごろ、会場は東京の山の手線駅近くだそうです（くれぐれも来年の話・予定です）。地元諏訪では年 3～4 回、飲み会をやっています（直近では 2 月、5 月に茅野市で開催）。だんだん安否確認のための会にはなりつつありますが…。せっかくの古希の会なので、米寿(88 歳)までの会の目処も話し合いたいと思います。ぜひ予定しておいてください。みんなで東京に集まりましょう。

なお、同窓会本部の DX 化およびかなき会の今後の連絡の効率化・確実化のため、全員の方、それぞれ皆さん各自で、清陵高校同窓会ホームページから、メールアドレスのオンライン登録を、必ずお願いします。登録方法がわからない方は、新たに寺澤君が作ってくれたかなき会事務局のメールアドレス (1950uregihs0101@gmail.com) にご連絡ください。登録してもらったアドレスは、古希の会への呼びかけに、早速使わせてもらいます。来年の秋まで、体調を整えて、元気でいましょう！

(79 回生学年幹事 岩波金太郎)

<81回生>

□ トピック 1: 懇親会

2025 年 1 月 2 日に新年会、4 月 19 日に高島城でお花見、6 月 21 日に同窓会後の二次会と毎年お決まりのスケジュール。81 回生には泡のビールが良く似合う！

□ トピック 2: 81 回生ゴルフコンペ 2025 開催

ゴルフ同好会コンペは、恒例となり 2025 年 4 月 8 日と 11 月 15 日に、いずれも蓼科高原 CC にて 2 回開催。「親睦第 1、健康第 2、スコア第 3」をモットーに、真剣かつ和気あいあいと楽しんでいます。81 回生にはグリーンの芝生が良く似合う！



□ トピック 3: 下諏訪レガッタ出場

2025 年 9 月 14 日開催の下諏訪レガッタに 3 艇 15 名が参加し、いよいよ常連の域に。

男子シニアのカテゴリーでは念願の初優勝を果たし、2026 年 9 月開催の全国市町村レガッタに出場予定。81 回生には煌めく諏訪湖が良く似合う！

◎ 81 回生には仲間と人生を楽しむ笑顔が良く似合う！

みんなもっと集まれー！

(81 回生学年幹事 小島洋二 田中輝明 朱 尚孝 平島孝人
山崎玲子 メールアドレス: 81kaiseisuwaseiryo@gmail.com)

<83回生>

私たち 83 回生は、恒例の忘年会を 12 月 30 日に諏訪市の居酒屋において開催いたしました。集まるメンバーは、毎年のことながら約 20 名で、今年の出来事をそれぞれ言い合い、楽しい時間を過ごすことができました。それぞれ、いろいろな状況（まだ現役で活躍している者、引退し悠々自適で生活している者、新たな一歩を踏み出している者など）が、近況を話し合いながら年末の夜を満喫しました。

今年は、83 回生の同窓会(同年会)を 6 月 13 日に開催する予定で、当番となった幹事がちょうど今、原稿を書いている 2 月上旬から、告知を始めているとのことです。期日は前述のとおり 6 月 13 日(土)、会場は前回と同じ諏訪市の「ラコ華乃井ホテル」です。順次、案内はがき等が届く体制です。同窓会総会は同年会の後ですが、会報が早めにお手元に届いたら、是非参加してください。

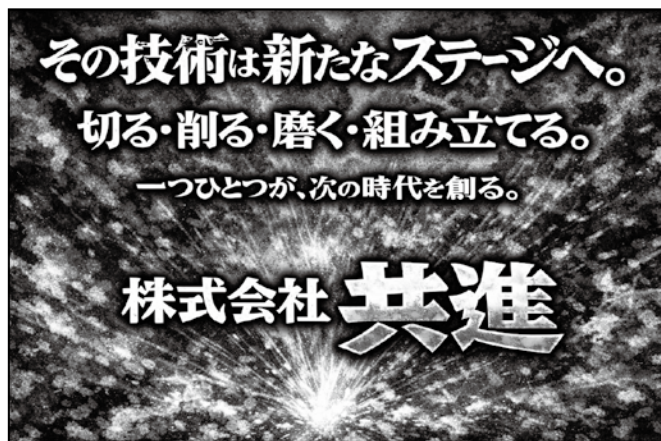
来年の会報では、当日のエピソードをご紹介します。

(83 回生学年幹事 雨宮左京)

<87回生>

87 回生の皆さん、いかがお過ごしでしょうか？今回は還暦記念 87 回生同期会のご報告です。2025 年 11 月 23 日 13:00～15:30、上諏訪駅前「すわっチャオ」で 90 名参加いただき開催しました。

今時必ずしも 60 歳定年ではありませんし、個人で事業を行っていたりキャリアチェンジもあって、皆が皆「節目の歳」ではありませんが、遠方からでも参加しようと思ってもらえるいい機会でした。土曜日出勤の人もいる、遠方からだと移動日が欲しい、上諏訪駅近くで昼過ぎなら県外でも当日家に帰ることができる、といったご意見を元に日時と会場設定し、その結果会場準備、片付け、テーブルの並べ直しまで皆さんに手伝っていただいたのは申し訳なかつ



たのですが、後日「すわっチャオ」窓口の方に伺ったところ、二次会で借りた別室も含めて問題なく片付いていたということでした。ご協力ありがとうございました。

話したいことはいっぱいあって、正味2時間半という時間は長いようで短い。終了後部屋を変えての二次会は十分時間をとれ、昼間参加できなかった数名も合流し、ここもまたにぎやかになりました。皆さんから、こんな仕事をしてきたんだよ、興味をもってこんなこと始めてみて今楽しんでいる、等々たくさんの意外な話を聞くことができ、とても楽しかったし刺激になりました。

私たちもそれなりの年齢にはなりましたが、まだまだやりたいこともできることもいっぱいあります。皆さんにおかれましてはご自愛いただき、益々のご活躍を祈っております。

(87 回生学年幹事 味澤敏行)



<88回生>

2026 年 令和8年8月8日、88 還暦記念同窓会（仮称）開催のお知らせ

88 回の皆さんこんにちは、お元気ですか。

我々いよいよこの歳になりますねえ、大台？

ということで、60 歳を迎えるこの節目の年に大同窓会を企画しています。

詳細は Facebook（グループ名：諏訪清陵高校 88 回卒業生）等でお知らせします。アカウント未登録の方はメール等でご連絡いただければと思います。また、各クラスからの幹事団からのご案内する予定です。多くの皆さんのご参加をお待ちしていますので、今から予定しておいて下さいね。

記

日時：令和8年（2026 年）8 月 8 日（土）11 ～ 16 時の間

*2 次会もあり

会場：ホテル紅や

ドレスコード：何か赤いものを身に付けて来て！

(88 回生学年幹事 倉科和則 kurakazu216@gmail.com)

<89回生>

89 回生の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

気づけば私たちが今年で五十九歳、いよいよ来年は還暦ですね！

若い頃はただがむしゃらに駆け抜けてきましたが、最近は帰省する機会も増え諏訪の景色を眺めるたびにほっとしながら、改めて地元への愛着が深まっています。

東京や諏訪で仲間に出会って一瞬で清陵時代に戻れるから不思議です。

そんなひとときは何よりのエネルギーチャージになり、語り合える仲間と故郷がある幸せをしみじみと感じています。

大きな節目を前にまずは健康第一で。これからも自分たちのペースを大切に軽やかに歩んでいきましょう。

今年の夏には東京で同窓会も企画しています。

たくさんの皆さまに再会できることを心から楽しみにしています。

(89 回生学年幹事 吉中宏子)

<90回生>

90 回生の皆さん、こんにちは。お元気ですか？

色々なところで、同窓会のつながりがあることを感じています。今年も下記予定で 90 回生の親睦会を企画しています。

■日時：2026 年 6 月 27 日（土）18：30 ～ ……ご予定を確保下さい。

■内容：宴会&各種ゲームなど

■場所（諏訪市内）、会費、申し込み方法は、別途メール、LINE などでお伝えします。

一緒に企画して下さい方は、是非小河原までご連絡をお願いいたします。

総会当日にご予定のある方も親睦会は、ご参加下さい。お待ちしております！！

(90 回生学年幹事 小河原一浩 seiryodousou90@gmail.com)

<91回生>

91 回生の皆様。われわれが、当番幹事学年を終え、2 年目を迎えました。当番幹事を経験し、あの感動の再集結を機に、また同期が繋がり、さらに学年の輪が広がったと実感しております。各地、各方面で、同期の集いが開催され、その模様が学年グループ LINE や SNS にあげられるようになりました。学年としては、昨年 6 月 21 日の定期総会終了後、焼肉諏訪ビール園で学年同窓会（同期会）を開催いたしました。35 名の参加をいただき、終了時間を延長しての、盛大で楽しい会になりました。定期総会を主催された 92 回生の学年幹事さん方が、お疲れのところサプライズでご来場くださり、一段と盛り上がりました。この場をお借りして、御礼申し上げます。

さて今年は、ボロボロ校舎の最後の年にともに学んだ、93 回生が当番幹事となり、6 月 27 日（土）の創立 130 周年記念定期総会に向けて着々と準備を進めています。93 回生にエールを送りつつ、その定期総会のあと、また学年同窓会（同期会）を開催したいと思います。詳細については、グループ LINE「諏訪清陵 91 回生」や Facebook「諏訪清陵高校第 91 回生」などで発信して参ります。まだこれら SNS のグループに入られていない同期の学友を見つけたら、どしどしご招待ください。さらに多くの同期の仲間と繋がることができれば幸いです。ご自身の近況報告や同期生自慢なども大歓迎です。

(91 回生学年幹事 藤森完一 kanichifujimori@hotmail.com)

<92回生>（九二会）

我らは卒後 20、30 周年、2 年前と 3 回の同期会を重ね、結束を高めてきました。2024 ～ 2025 年は当番幹事として修行のように全国 8 支部総会を行脚して校歌を歌いまわりました。そして、92 回生の総力を結集し本部・東京清陵会とも「会報&総会」の大役を、先輩・後輩の皆様の協力の下、何とか成就できたことに、厚く感謝申し上げます。

2025 年度のテーマを「清陵」という心の熾火に掲げて邁進する中、我らが高 3（1988 年）の清陵祭で聖火隊が Fire Storm に点火するお宝映像が発見されました！このビデオは、当時の体育教師であった佐久信雄先生（70 回）が撮影してくださったそうです。佐久先生と、それをデジタル編集された 93 回両宮伊織さんには心より敬意を表します。このような情報交換が出来る学年グループ LINE に登録して下さる方は、笠原までご連絡ください。また、本部のオンライン名簿作成にあたり、笠原が 92 回生の DX 委員を拝命し、マイページから昨年のパネルディスカッション動画が見られるよう提案中です。同窓会 HP からマイページ登録し、更に繋がりをしましょう！

今年 6/27（土）は、93 回生当番幹事の総会です。終了後は同期会を予定していますので、是非総会から盛り上げて頂ければ幸いです。4 年後の還暦祝いは泊まり開催かな？クラス幹事の皆さん、懲りずにご協力お願い致します！

(92 回生学年幹事 笠原健一 kenkasa24@gmail.com)



<93回生> (久燦会)



本年、いよいよ 93 回生が、同窓会総会の幹事を仰せつかる年となりました。昨年 7 月には清陵祭の同窓会展示を担当し、集まった同期で当番学年としてのキックオフの会をしました。9 月に 92 回生の先輩から引き継ぎを受け、そこから同窓会報編集と同窓会総会開催に向けて本格的に動き始めました。現在、同期の LINE グループには 119 名（令和 8 年 2 月末時点）が集まり、日々情報を共有しています。まだ参加されていない方は、ぜひ吉川までご連絡ください。

昨年度、母校諏訪清陵高校は 130 周年という節目の年を迎え、現役の生徒の皆さんや諸先輩方の多大なご努力のおかげで、130 周年記念事業が大成功しています。その仕上げの一端を、創立 130 周年記念定期総会という形で 93 回生が担うことになります。本同窓会報には、130 周年記念式典の様子を同期の笠原くん、日比くんに取材をしてもらい、報告させていただきました。次はいよいよ、130 周年の記念定期総会です。令和 8 年（2026 年）6 月 27 日（土）、ホテル紅やにて行います。総会後の企画では、「グローバル」をテーマに、同期の仲間がパネリストとして語ってくれる予定です。出席して下さる皆様に、「来てよかった」「母校のエネルギーを感じた」と心から喜んでいただけるよう、精一杯準備をがんばります。この大役を果たすには、同期 93 回生の協力が不可欠です。「協力一致」で同窓会を盛り上げていきましょう。

3 月の東京清陵会ミドル交流会で講師を務め、6 月の定期総会でもパネリストとなります。93 回生・柳澤寿男氏が指揮を務めるコンサートが、9 月 13 日（日）下諏訪総合文化センターにて開催されます。こちら、同期の絆で会場をいっぱいにしましょう。同窓の皆様も、お誘い合わせの上、ぜひ足をお運びください。

(93 回生学年幹事 吉川 豪 yskwgo@yahoo.co.jp)

<94回生> (丘誉会)

94 回生のみなさんお元気ですか。いよいよ今年の秋から私達が幹事学年、7 月の清陵祭では同窓会展示を担当する当番となります。楽しんでやっていきましょう。

既にメールやグループ LINE などでお声がけをさせていただいておりますが、もし学年幹事からのご連絡が届いていない方や同期の方の消息をご存知の方がいらっしゃいましたら下記までご連絡をお願いいたします。



(94 回生学年幹事 藤森賢也 Seiry94@gmail.com)

<96回生>

96 回生、学年幹事矢ヶ崎です。お久しぶりですが皆さんお元気ですか？

数年前、3 部の高木君から「そろそろ同級会やらない？」と連絡をもらい「いいね。やろう」から数年後、7 人ほどで集まり「あいつ何やってるんだろうね～」からクラスのメンバーに声をかけ数か月後の 25 年 2 月、担任の小野先生を交え 20 名ほどの同級会をしました。

不思議なもので住むところも違えば何もかも違う環境なのに集まればあの時のホームルームのように尽きぬ話になり、懐かしさと共にとにかく楽しい時間でした。その後永久幹事の高木君の尽力で今や 3 部のほぼ全員とつながるグループチャットができています。

また同じ頃、ふいに 2 部の両角君からの連絡をもらったおかげで 94 回生の藤森先輩から「学年幹事としてそろそろ活動に参加してみませんか？」という事になりこの同窓会活動の末席に参加し始めました。同窓会では私より 20 年も上の先輩や初めましての先輩ばかりですが同じ学び舎で学んだ、という不思議な親近感から色々なお話を聞く事ができ、この学校で過ごしたことがどれだけ貴重な経験だったことかを改めて考えさせられています。

そんな事もあり「そろそろみんなに会いたいな」と思うようになり、まずは音信不通の皆さんとやり取りができるよう LINE のオープンチャット「集まれ！諏訪清陵 96 回生」を作りました。個人特定なしで参加できますが、誰が誰だかわからなくなるのでクラスと名前で登録し、一言ください。参加お待ちしています！



https://line.me/ti/g2/bdc0y55srHVBt9RGJ057m93V38YvfvfW--UmBg?utm_source=invitation&utm_medium=link_copy&utm_campaign=default

(96 回生学年幹事 矢ヶ崎明徳)

<97回生>

97 回生の皆さん、元気にしてますか～？私がこの原稿に向き合うのが 2 月上旬、毎年読んでくれている人はお気づきかもしれませんが、前年の新語・流行語をヒントに文章を作っています。2025 年で気になったワードは？・・・「ぬい活」「長袖をください」「チョコミントよりもあ・な・た」「ほいたらね」って、なんじゃこりや（笑）。毎年毎年新しい新語が生み出され、無理についていこうとするのも逆におっさんくさいと言われたり（涙）。次の休みには気晴らしに、ぬいぐるみと一緒にユニクロ行って愛スクリーム食べよっかな。最後になりますが、各クラスの集まりなどがあるようでしたらご一報いただけると嬉しいです。ではでは、ほいたらね～。

(97 回生学年幹事 西村英一 tateshina24@gmail.com)

<103回生>

103 回生のみなさま、ご違者でしょうか。

自分は、昨年の夏に草刈りをしていたら側溝に落ちてしまい、脛をしこたま強く打ち付け、文字どおり脛に傷を持った状態となりまして今も傷が微妙に消えません。傷の治りにくい年齢になってきたようです。

気付いたら我々も四十の半ばを迎え、そろそろ久闊を叙したいと思っている頃合いではないでしょうか。

どうも我々 103 回生は今年がサブ幹事といわれるものに当たっており、あと 10 年後に同窓会の幹事をやらなくてはいけないそうです。ここまで紙面をしっかりと読んできた方はお気づきかもしれませんが、どうも当番幹事の年は 140 周年のイベントがあるようなような...

ということで、今年はサブ幹事ですので、みなさま総会でお待ちしております。参加希望の方は↓にメールしてください。

なお、総会参加いかにかわらず連絡大歓迎です。お酒の一杯や二杯やりましょう。

(103 回生学年幹事 織田雅之 odam.s103@gmail.com)

<112回生>

112 回生のみなさんお変わりありませんでしょうか。昨年は 92 回生の笠原先輩からお誘いをいただき、同窓会総会に参加させていただきました。当日は 6 部通崎さんらによる素敵なパネルディスカッションも大変盛り上がりしました。会場では清陵高校の大先輩であり、6 部の担任をいただいた大久保先生にもお会いでき、会の後には同級生数名で喫茶店にて懐かしい話もできました。私自身は、役員法被の引き継ぎなどにも参加させていただき、大きな責任を肌で感じました。（あの法被は家に飾りたいくらいカッコいいデザインで、）20 年後を見据えて学年の結束を高めたいところです。みなさまお近くの方とつながっておいてください。近々お声掛けします。

(112 回生学年幹事 青野 翔)

2025 年度
諏訪清陵高等学校同窓会

会 務 報 告

(2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

- 4 月 4 日 諏訪清陵高等学校131回生入学式
今井竜五会長祝辞
新入生 241 名 (男子 112 名・女子 129 名)
諏訪清陵附属中学校 12 期生入学式
新入生 80 名 (男子 43 名・女子 37 名)
- 4 月 19 日 上伊那支部総会 (加島範久支部長)
たつのパークホテル
- 4 月 22 日 会計監査 会長・監事
- 5 月 17 日 幹事会 総会議案協議 清陵会館
- 5 月 22 日 清陵同窓会報第51号発送 編集担当92回生
- 6 月 14 日 下諏訪支部総会 (山田孝實支部長) ぎん月
- 6 月 22 日 清陵同窓会総会 “清陵”という心の熾火
ホテル紅や
- 7 月 4 日 第75回清陵祭 同窓会展示 担当93回生
- 8 月 2 日 東海支部総会 (今井安榮支部長) メルパルク名古屋
- 9 月 13 日 92・93・94回生引継ぎ会 イール亭おおいし
- 10 月 18 日 創立130周年記念式典・講演会・祝賀会
学校・ホテル紅や
- 10 月 5 日 東京支部総会 (両角寛文支部長) 喜山倶楽部
- 11 月 1 日 原支部総会 (藤原光郎支部長) 自然文化園
- 11 月 7 日 諏訪支部総会 (石城正志支部長) ホテル紅や
- 11 月 15 日 松本支部総会 (堀川精一支部長)
モンターニュホテル
- 11 月 24 日 物故者慰霊法要 常任委員会 地藏寺
- 11 月 27 日 北信支部総会 (守屋正造支部長) ホテル信濃路
- 2026 年
- 1 月 26 日 創立130周年記念事業施設整備部会 清陵会館
- 2 月 8 日 茅野支部総会 (田村義明支部長)
マリオローヤル会館
- 2 月 21 日 富士見支部総会 (五味公守支部長) JA 会館ふじみ
- 2 月 26 日 岡谷支部総会 (宮坂好史支部長) メモリー
- 2 月 28 日 幹事会 総会予定議案協議 清陵会館
- 3 月 3 日 諏訪清陵高等学校129回生卒業式
今井竜五会長祝辞
印鑑セット贈呈
- 3 月 18 日 諏訪清陵附属中学校10期生卒業式
卒業証書入贈呈
- 3 月 29 日 関西支部総会 (藤森廣幸支部長)
ホテルプラザオーサカ

2026 年度
諏訪清陵高等学校同窓会

事業計画書(案)

(2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日)

1. 母校創立 130 周年記念事業
教育環境整備の充実、同窓会館の改修、DX 化の推進ほか
2. 同窓会定例事業
【会員交流事業】
 - (1) 2026 年度定期総会 6 月 27 日 (土) ホテル紅や
 - (2) 幹事会 5 月 23 日、2 月
 - (3) 同窓会報発行 第 52 号 編集担当 93 回生
 - (4) 各支部活動促進
 - (5) 物故会員慰霊法要 11 月 7 日 (土) 地藏寺
 - (6) 女性部活動支援
 - (7) ホームページの充実
- 【母校教育助成事業】
 - (1) 母校クラブ活動・自反会助成
クラブ活動・自反会同窓会後援会の充実
会費納入活動強化
母校クラブ後援会会計・自反会会計へ助成
 - (2) 母校連携交流事業
定期交流会開催
清陵祭同窓会室設置
 - (3) 卒業生 記念品贈呈
印鑑 (高校) 卒業証書入 (中学)

◇計画変更もありますのでホームページ等でご確認ください。

ヨコイ眼科

院 長 横 井 秀 俊
(89 回生)長野県茅野市宮川 4470 番地
TEL. (0266) 72-2316

院長 笠 原 健 一 (92 回生)

〒392-0027 諏訪市湖岸通り 5-17-1
Tel/Fax: 0266-53-0506

整形外科・リハビリテーション科

院長 高原 健治 (93 回生)

上伊那郡南箕輪村 5586 番地 2
0265-98-0385
<http://www.takahara-clinic.jp>

2025 年度同窓会一般会計決算書

2025 年 4 月 1 日～ 2026 年 3 月 31 日

収 入 総 額 14,918,695 円
支 出 総 額 13,634,935 円
次年度繰越額 1,283,760 円

Ⅰ 収入の部		(単位：円)		
科 目	予算額	収入済額	増 減	備 考
前年度繰越金	15,647	15,647	0	
入会金	2,400,000	2,060,000	△ 340,000	新入生 206 名
終身会費	4,800,000	4,120,000	△ 680,000	新入生 206 名
基本財産繰入金	1,000,000	5,000,170	4,000,170	SSH 補助 1,000,000 一般会計繰入 4,000,170
クラブ活動・自反会後援会	4,000,000	3,570,000	△ 430,000	
受取利息	0	11,816	11,816	
物品販売	10,000	18,500	8,500	
雑収入	5,000	122,562	117,562	
収入合計	12,230,647	14,918,695	2,688,048	

Ⅱ 支出の部		(単位：円)		
科 目	予算額	支出済額	増 減	備 考
自反会助成 (土曜講座)	640,000	640,000	0	清陵高校助成
クラブ活動助成 (高校)	2,500,000	2,500,000	0	清陵高校助成
クラブ活動助成 (中学)	300,000	300,000	0	清陵中学助成
母校連携交流事業	300,000	312,738	12,738	講師旅費等
学校運営補助	500,000	444,269	△ 55,731	運営費
SSH 学校運営補助	1,000,000	1,000,000	0	5 年継続 2 年目
その他助成	200,000	255,400	55,400	卒業記念品、学校案内
定期総会費	550,000	329,650	△ 220,350	運営費、資料費、広告代
支部活動奨励金	600,000	620,000	20,000	支部総会祝儀
女性部活動助成	300,000	300,000	0	女性部活動補助
その他事業	30,000	10,000	△ 20,000	湖周マラソン助成
会報会計繰出金	1,800,000	3,300,000	1,500,000	同窓会報
会館維持会計繰出金	50,000	50,000	0	
ホームページ充実	100,000	100,000	0	ホームページ管理料
給料手当	900,000	975,000	75,000	事務局給与
会議費	100,000	202,163	102,163	常任幹事会、幹事会
旅費	850,000	784,540	△ 65,460	役員旅費、交通費
事務所費	900,000	1,511,175	611,175	消耗品、通信、備品、慶弔、 業務委託、振込手数料等
基本財産繰出金	0	0	0	
予備費	610,647			
支出合計	12,230,647	13,634,935	1,404,288	

130周年記念事業実行委員会
会計中間報告 (2024 年 9 月～)

(2026 年 3 月 31 日現在)

Ⅰ 収入の部		(単位：円)	
科 目	予算額	収入済額	
篤志寄付金	17,050,000	11,000,000	
一般寄付金	8,550,000	8,048,496	
繰入金 (基本財産)	4,000,000	4,004,625	
負担金	1,000,000	1,309,000	
雑収入	0	6,757	
収入合計	30,600,000	24,368,878	

Ⅱ 支出の部		(単位：円)	
科 目	予算額	支出済額	
記念式典費	1,500,000	1,972,860	
記念講演会費	500,000	348,330	
記念祝賀会費	1,000,000	1,356,790	
教育環境整備費			
同窓会館トイレ洋式化	7,700,000	0	
同窓会館外装改修工事	7,700,000	0	
同窓会館会議室机椅子	1,650,000	0	
デジタルネットワーク化	5,500,000	4,053,319	
部活用マイクロバス購入	1,450,000	1,591,034	
寄付経費	300,000	0	
事務費	3,300,000	1,093,425	
支出合計	30,600,000	10,415,758	

差引残高	13,953,120
------	------------

2025 年度 諏訪清陵高等学校同窓会 基本財産及び特別会計 決算報告

基本財産目録

(2026 年 3 月 31 日現在)

	定期口座番号	
諏訪信用金庫	819778	6,010,330 円
	806523	3,003,554 円
	806531	20,023,661 円
	854568	1,002,089 円
	860973	3,000,636 円
八十二長野銀行	075-007	16,208,305 円
	204-440	2,002,369 円
	合計	51,250,944 円
前年比	△ 4,987,141 円	

遺志金 特別会計 (笠原文武様)

(2026 年 3 月 31 日現在)

前年度繰越金	328,801 円
利 息	866 円
ブラッシング指導料	27,060 円
差引残高 (2026 年度へ繰越)	302,607 円

会館維持 特別会計

(2026 年 3 月 31 日現在)

前年度繰越金	1,051,659 円
繰入金 (一般会計より)	50,000 円
利 息	1,750 円
支出額	34,650 円
差引残高 (2026 年度へ繰越)	1,068,759 円

同窓会活動支援金特別会計

(藤森弘章様)

(2026 年 3 月 31 日現在)

寄付金	10,000,000 円
利 息	3,318 円
差引残高 (2026 年度へ繰越)	10,003,318 円

同窓会報 特別会計

(2026 年 3 月 31 日現在)

前年度繰越金	770,321 円
繰入金 (一般会計より)	3,300,000 円
利 息	2,023 円
広告収入	800,000 円
支出額 (印刷費・発送費)	4,022,762 円
差引残高 (2026 年度へ繰越)	849,582 円

2026 年度一般会計予算書（案）

清陵高校クラブ活動後援会 会計報告

(同窓会・PTA・学友会から助成)

2026 年 4 月 1 日～ 2027 年 3 月 31 日

収 入 総 額14,373,760 円

支 出 総 額14,373,760 円

収 支 差 引 額0 円

I 収入の部

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
前年度繰越金	1,283,760	15,647	1,268,113	
入会金	2,340,000	2,400,000	△ 60,000	新入生 234 名
終身会費	4,680,000	4,800,000	△ 120,000	新入生 234 名
基本財産繰入金	2,000,000	1,000,000	1,000,000	SSH 学校運営補助 100 万円 一般会計繰入 100 万円
クラブ活動・自反会 後援会	4,000,000	4,000,000	0	
受取利息	10,000	0	10,000	
物品販売	10,000	10,000	0	
雑収入	50,000	5,000	45,000	
収入合計	14,373,760	12,230,647	2,143,113	

II 支出の部

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
自反会助成(土曜講座)	1,340,000	640,000	700,000	清陵高校助成
クラブ活動助成(高校)	2,100,000	2,500,000	△ 400,000	清陵高校助成
クラブ活動助成(中学)	0	300,000	△ 300,000	
母校連携交流事業	300,000	300,000	0	講師旅費
学校運営補助	500,000	500,000	0	運営費
SSH 学校運営補助	1,000,000	1,000,000	0	5 年継続 3 年目
その他助成	200,000	200,000	0	卒業記念、学校案内
定期総会費	550,000	550,000	0	運営費、資料費、 広告代
支部活動奨励金	600,000	600,000	0	支部総会祝儀
女性部活動助成	300,000	300,000	0	女性部活動補助
その他事業	30,000	30,000	0	湖周マラソン助成
会報会計繰出金	3,000,000	1,800,000	1,200,000	同窓会報発行
会館維持会計繰出金	50,000	50,000	0	
DX 事業費	100,000	100,000	0	ホームページ管理料
給料手当	930,000	900,000	30,000	事務局給与
会議費	200,000	100,000	100,000	常任幹事会、幹事会
旅費	800,000	850,000	△ 50,000	役員等旅費、交通費
事務所費	1,100,000	900,000	200,000	消耗品、通信、備品、 慶弔、業務委託、 振込手数料等
基本財産繰出金	0	0	0	
予備費	1,273,760	610,647	663,113	
支出合計	14,373,760	12,230,647	2,143,113	

同窓会、PTA 及び学友会により結成された清陵高校クラブ後援会
は、平成 9 年度に発足して以来、28 年が経過しました。同窓会にお
かれては、会員の皆さまのご理解を賜り、途切れることなく多大なる
援助をいただいております。お礼申し上げます。

令和 7 年度は、全国高等学校総合体育大会や全国高等学校総合文化
祭などにおいて、地区大会から全国大会に至るまで、本校生徒の多く
の活躍がありました。運動部では、陸上部、端艇部、個人参加でス
ケート競技が全国大会出場を果たしました。文化部では、かるた部が
全国高校選手権大会出場を果たしたほか、古典ギター部、物理部・化
学部、英語部が全国クラスの大会・発表会に出場しました。また、北
信越大会においても、男女テニス部、水泳部が出場を果たし、生物部、
天文気象部が研究発表会に参加をしました。

本校生徒が、このような幅広い分野で活躍できていることは、同窓
会からの助成があつてのこととであります。生徒及び関係者一同、心よ
り深く感謝申し上げます。令和 8 年度においても、本校生徒がクラブ
活動に励むことができるよう、学校としても一層努力してまいります
ので、引き続き、多大なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

なお、令和 7 年度当初に、PTA 会計等私費会計全体における資金
負担者（保護者、同窓会等）と受益者（生徒、職員等）の関係が明解
になるよう資金の流れを見直したことに伴い、同窓会から当会計への
令和 7 年度助成金 2,500 千円のうち、2,100 千円を当会計の収入とし、
400 千円を自反会会計へ繰り出しましたことを、申し添えます。

(学校事務長)

令和 7 年度クラブ活動後援会 会計決算

収入総額14,206,181 円

支出総額14,206,181 円

差引残高0 円

収入の部

(単位：円)

科 目	当初予算額	収入済額	差引増減
繰 入 金	1,096,000	4,119,815	3,023,815
学 友 会	1,096,000	1,096,000	0
P T A	0	3,023,815	3,023,815
学校・生徒支援金	6,785,500	6,747,500	△ 38,000
同 窓 会	2,138,000	2,100,000	△ 38,000
保護者・生徒	4,647,500	4,647,500	0
県 等 補 助 金	151,200	2,870,162	2,718,962
雑 収 入	685	3,089	2,404
繰 越 金	465,615	465,615	0
合 計	8,499,000	14,206,181	5,707,181

支出の部

(単位：円)

科 目	当初予算額	支出済額	差引増減
生 徒 遠 征 費	6,200,000	11,206,146	△ 5,006,146
大 会 参 加 費	760,000	1,359,250	△ 599,250
分 担 金	100,000	30,000	70,000
施 設 使 用 料	1,200,000	1,589,230	△ 389,230
事 務 費	50,000	21,555	28,445
備 品 購 入 費	100,000	0	100,000
予 備 費	89,000	0	89,000
合 計	8,499,000	14,206,181	△ 5,707,181

最先端技術にはロマンがある

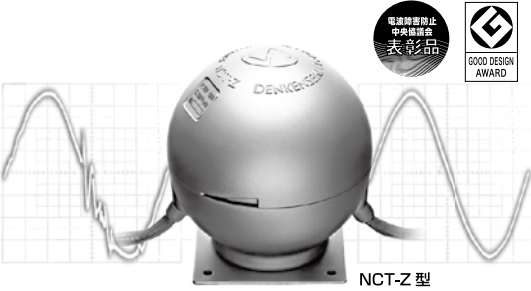
理想を追求した **イズカットトランス**[®]
ノイズ障害防止の切り札で、近未来に先駆けるトランス型ノイズ防止素子です。

www.denkenseiki.co.jp



本 社：〒203-0042 東京都東久留米市八幡町1-4-21 TEL 042-473-3745(代)
大阪営業所：〒550-0013 大阪府大阪市西区新町1-7-5 TEL 06-6538-1118(代)
ノイズトラブル相談室 電源ラインのノイズトラブルに関するご相談・調査・技術援助等を承ります。

会社紹介動画



クラブ後援会会員芳名 (敬称略)

以下の名簿は、令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日に、会費をお振込み頂いた方々です。
ご協力ありがとうございました。

44 回生	59 回生	牧 成治	大槻 守	吉池 正	75 回生	武井 亨	倉澤 克弥	今井 弘毅
伊藤 善光	金子 道子	松木 義文	倉田 直道	72 回生	河西 英治	竹村 潔	野口 賢郎	西村 英一
48 回生	今井 潔	亙理美代子	秋山 利夫	新井 滋平	北沢 守一	伴野 豊	松澤 毅	林 美左子
河西 孝夫	加賀美久高	吉原 千文	花岡 枉好	白鳥 洋治	吉川 秀樹	80 回生	宮坂 賢一	向山 尚樹
永由 利弘	金子 博厚	64 回生	原田 盛夫	植松 高志	小林 敦仁	織田 吉夫	90 回生	98 回生
49 回生	小松 巖	武井 省吾	藤森 照信	小口 邦雄	田中 義清	工藤 千秋	小河原一浩	飯島 浩樹
北澤 素幸	中島 伸一	小口 壽夫	69 回生	熊崎 秀和	藤沢 進一	小林 幸春	小濱 健一	望月 加奈
土田健次郎	松下 勲	垣内 直	青沼 水門	小泉 悦夫	宮坂 好史	高橋 幹彦	古村 雅利	99 回生
51 回生	宮川 良一	小飼 隆文	岩波 寿亮	中村 博	76 回生	武居 光雄	西瀬 祥一	宮澤 俊行
大和 廣人	60 回生	小川 由英	小野 仁	名取 重治	朝倉 義信	小口 澄江	矢崎 宏明	100 回生
小林 俊介	植松 峯夫	武井 直人	川村美枝子	花岡 哲象	大滝 啓吉	81 回生	91 回生	小原 章央
小松 袈伴	小川 浩史	新村 恩	小林 哲男	林 健康	稲葉利恵子	田中 輝明	小平 謙治	竹村 宏介
永由 桃介	河西 敏勝	宮沢 勇	小松 郁俊	山田多美枝	金子 次男	浜 徹	藤森 良彦	宮坂 大
堀内 昭八	金井 浩	宮澤 玄治	坂井 俊英	宮坂 伸	五味 篤	平島 孝人	百瀬 賢志	101 回生
三輪 祐司	小平 徳次	山田 勝俊	比田井昌英	宮坂 文昭	坂本 茂樹	82 回生	92 回生	池田 玲子
山崎 壯一	小林 和磨	山田 巻義	高山 猛英	山田 孝實	田中 修	伊東 昌彦	荒井 亮一	金田さや香
52 回生	進藤 聖士	山本 建夫	塚平 均	大倉 幸雄	田沼 唯士	牛山 弘	今井 宗泰	102 回生
浦野 実	高木 祥勝	横内 稔	中田 典昭	73 回生	花岡 博茂	小野 隆吾	河西 信	小口 祥史
笠原 邦三	花岡 征男	65 回生	花岡 正	マディーン啓子	花岡 正浩	古屋 了	山口 奏子	笠原 稔大
田中 敏夫	原田俊次郎	青木 成雄	林 史章	岡野 健	松田 昌幸	83 回生	植松 真実	103 回生
両角庄二郎	宮澤 政文	岩本 弘	比田井和子	小口 泰介	山崎 文男	新澤みどり	新村 克英	奥原のぞみ
55 回生	矢崎清太郎	小林 一彦	真野 恒夫	帯川 利之	77 回生	小野 博正	西澤 賢	金子 美緒
五味 省七	米沢 豊	五味 正明	矢澤 博	窪田 敏	小澤 周介	寛 慎治	林 秀樹	104 回生
56 回生	61 回生	竹村 友一	柳平 三雄	小池 文市	神澤 夏樹	倉田 重子	古林 一哉	永田 正樹
河西 啓二	牛山 俊	浜 一吉	吉江 春人	小松 大蔵	小林 初彦	松崎 任宏	宮入 洋祐	105 回生
小池 寛	太田 龍朗	浜 裕幸	吉江 森男	五味 信治	小松 正彦	宮澤 茂樹	山田 修	五味 良子
小平 貞	小河原章博	保坂 俊正	吉川 仁	土橋 孝之	薩摩林恭子	三輪 晋一	93 回生	堀 晶彦
下平 勝幸	唐澤 英安	細田 正昭	芳沢 弘幸	鳥羽 研二	千葉 茂胤	矢嶋 哲	野明 三枝	106 回生
堀川 尚武	川村 昌平	宮澤 健一	70 回生	中島 毅	中島 秀明	84 回生	山田 健一	河西 正憲
山崎 滯子	北原 隆	66 回生	石田 隆男	林 元夫	西村いづみ	島崎 義都	94 回生	111 回生
渡部 清	小林 五郎	小野里喬史	小口 俊光	原 大	深井 宣子	吉山 浩光	小口 和弘	武居 雅樹
57 回生	平野 国政	小口 治	垣内 国光	原 秀男	金子 恵子	85 回生	北条 浩之	田中 福城
荻野 浩	宮坂 真也	河合 三彦	唐木 康正	松田 光明	平出 美彦	今井 真	95 回生	112 回生
小池 成芳	高見澤忠明	北原 東一	小林 金好	柳田 恒男	堀田 康之	河西 明	松浦亜紀子	大橋 由貴
五味 乙	62 回生	久保田利行	田村 義明	74 回生	宮坂 友英	北原 武	小口 俊和	114 回生
篠原 康夫	永由 俊二	小平 正八	平山 哲三	青木 和弘	湯澤 正美	長田 里美	小林 啓二	宮坂 有紗
西山 郁夫	63 回生	降幡 賢一	藤森 廣幸	今井 竜五	渡辺 恵祐	86 回生	小林 崇仁	116 回生
水野 一也	遠藤 博万	67 回生	藤森 行雄	岩本 敏男	78 回生	清水 俊樹	小松 貴弘	土田 光明
横内 茂	小澤 容	飯沢 信次	安木 良博	植松 孝彦	小尾 一郎	清水 直樹	斎藤 泰史	118 回生
58 回生	河西 武彦	糸山 裕次	71 回生	大滝 精一	釜洞 修一	青木 裕子	96 回生	帯川 恵輔
小澤 啓男	久保田克明	今井 豊	伊藤 洋一	金井 良一	小松 一俊	樋代 章平	下島 和弥	122 回生
笠原 忠夫	小林 勉	石原美江子	磯野 康子	五味 克成	坂本 忠信	87 回生	田中 雄一	酒井 大輔
清水 保雄	高木 鐵也	柳平 直茂	清水 優一	五味 公守	79 回生	矢崎 裕夫	小濱 知実	124 回生
茅野 充男	鶴巻 健彦	山本 巖	田畑加久司	高木 健治	河西 一彦	88 回生	三浦潤一郎	花岡知夏子
平林 佳治	長谷川文規	吉江 幸次	濱 研一	土橋 英一	窪田 好実	武井 芳彦	八幡 順子	128 回生
藤森 保夫	浜 弘毅	68 回生	松澤 祥司	佐藤 恵子	小林 秀年	今井 薫	渡辺 真宏	井出 千陽
吉田 嵩	平澤 豊満	有賀 良夫	宮坂 敏郎	吉田 利幸	五味 桂一	89 回生	97 回生	花岡 俊明
	藤森 宏一	牛山 和義	横内 保美		高木 保夫	大野 美江	池上 実	

計 報

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。(2026年3月31日までにご連絡をいただいた方々)

回生	氏 名	死亡年月日	回生	氏 名	死亡年月日	回生	氏 名	死亡年月日	回生	氏 名	死亡年月日
39	濱 森十	2015/10/30	51	酒井 和悦	2023/9/25	59	桑原 敏次	2021/3/3	65	井出 洋	2025/12/9
39	細田 圭一	2018/3/24	51	清水 昭雄	2023/12/17	59	小林 昭夫	2025/1/7	65	今井 淳	2025/6/16
42	久保 光保	2017/	51	田口 範三	2022/7/28	59	小林 国男	2024/3/24	65	木村 博	2025/5/10
42	林 利雄	2018/4/16	51	三輪 祐司	2025/7/1	59	小林 松雄	2025/9/21	65	小松 功	2025/6/13
43	樋口 國男	2021/11/	51	横川 端	2024/12/2	59	塩沢 更生	2023/1/	65	武川 元臣	2025/11/
44	河西 孝雄	2025/11/23	52	久田 堯夫	2023/8/25	59	篠崎 知足	2026/1/8	65	矢島 建紀	2025/10/10
44	河西 勝	2024/10/12	52	立石 和夫	2025/4/18	59	山崎 雄二	2025/11/17	65	浜 豊	2024/12/23
44	高橋 瀏爾	2024/4/30	52	土橋 創作	2023/3/8	59	中山 篤	2024/10/22	66	岸 育造	2025/9/12
45	柴田 武男	2017/1/18	52	中村 尚	2025/9/	60	小口 弘志	2023/5/13	66	小池 章博	2024/5/30
45	関 弥之助	2026/2/21	52	林 秀樹	2025/1/15	60	金丸 容哉	2023/5/18	66	五味 克三	2025/9/1
46	青木 増吉	2012/10/16	52	藤森 克男	2024/12/20	60	小平 力	2017/12/10	66	矢島 久人	2025/8/12
46	赤羽 三衛	2021/9/15	52	山田 順三	不明	60	高木 祥勝	2025/8/	66	藤原 剛	2025/3/17
46	河西 立夫	2015/11/28	55	太田 弘道	2025/1/9	60	堀内 進	2024/5/11	67	榎本 善興	2024/9/16
46	小池 和男	2025/11/23	55	近藤幸一郎	2025/3/6	60	松澤 務	2026/3/3	67	熊澤 潔	2026/3/27
46	林 克典	2024/2/2	55	名取 一夫	不明	60	山田 侑平	2024/9/5	67	三原 誠	2024/11/22
46	藤原 安行	2024/10/19	56	伊藤 安幸	2008/3/28	61	金子 光広	2020/9/15	68	小坂 輝明	2025/3/8
46	宮本 亨	2022/12/20	56	萩原 能男	2025/4/9	61	下枝 晴彦	2023/6/	68	金井 正光	2024/10/27
47	有賀 寛	2025/3/31	56	竹村 哲朗	2017/12/24	61	花岡 斎	2024/5/29	68	長田 徳夫	2024/6/3
47	行田 桂	不明	56	中田 智章	2018/4/16	61	中村 隆一	2025/4/24	68	春宮 哲	2024/9/21
47	宮坂 和宏	2025/8/15	56	名取 欽一	2025/9/8	61	野口 堯史	2024/11/28	69	小口 隆久	2019/7/7
47	両角 和美	2011/6/20	56	藤井 真之	2023/11/19	61	堀川喜代太郎	2024/12/7	69	野沢 昭勇	2022/2/8
47	矢崎 舜彦	2025/12/29	56	藤森 暢	2025/4/9	61	宮澤 三郎	2025/4/27	69	宮坂 健一	2025/7/26
48	小口 治男	2025/11/28	56	青木 瑞枝	2025/6/7	62	阿部 武義	2025/10/15	70	中谷 敬	2025/10/
48	金子 博夫	2021/6/	56	宮坂 基也	2024/3/27	62	飯山 節夫	2022/8/	70	矢島 芳明	2025/3/8
48	河合 守男	不明	57	伊藤 雅史	2025/1/5	62	牛山 勝規	2025/8/10	70	山崎 法藏	2026/3/18
48	小市 良平	2025/3/31	57	加々見 正	2024/	62	大井田一明	2023/4/5	71	伏見 光一	2025/8/
48	茅野作之助	2025/6/14	57	高橋 昭市	2019/7/6	62	小林 公人	2023/11/29	71	増澤 博和	2025/10/8
48	藤森 正好	2025/10/4	57	武井 千春	2021/6/17	62	小林 光昭	2025/	72	土屋 公男	2024/12/16
48	溝口 章夫	2022/4/23	57	立石 邦久	2025/6/7	62	濱 清	2022/4/6	73	熊谷 靖樹	2025/9/2
48	矢崎 慎雄	2024/8/19	57	橋本 哲夫	2021/10/12	62	藤森 文安	2026/3/14	73	小池 将修	2025/5/4
49	上原 進	不明	57	濱 有	2024/9/12	62	松下 達雄	2024/7/20	75	宮坂 通世	2025/11/21
49	帯川 淳志	2025/12/28	57	藤原 良雄	2025/1/7	62	丸山 伸一	2025/12/14	76	木下栄一郎	2024/11/
49	河西 勇	2024/7/4	57	増沢 充	2024/3/4	63	鮎沢 義雄	2025/3/12	76	平出 一重	2026/2/28
49	北澤 素幸	2025/4/30	57	柳澤 政喜	2025/11/26	63	大島 節雄	2024/1/	76	藤森 政明	2025/9/12
49	佐藤 忠一	2025/4/18	57	横内 茂	2025/4/4	63	酒井 猛	2026/3/15	78	小野 昌喜	2025/2/10
49	代田 繁夫	2022/5/17	58	伊藤 彰彦	2024/10/20	63	田中 阜	2025/5/11	78	濱 正憲	2025/9/14
49	土田健次郎	2024/9/26	58	伊藤 博敏	2024/2/4	63	北澤 千文	2025/11/11	78	増澤 利彦	2023/9/5
49	藤森 昌美	2026/2/24	58	牛山 孝樹	2021/8/30	63	向川原 忠	2024/6/30	79	五味 稔典	2025/5/28
49	矢崎 成	2025/1/13	58	小澤 啓男	2024/9/6	63	吉澤 淳	2023/4/12	79	山口 一仁	2023/12/23
49	山田 宏	2013/10/7	58	小野 寿男	2024/10/5	64	菊池 祥夫	2024/11/5	80	竹村 文彦	2024/6/22
50	伊藤 友彦	2024/9/27	58	河西 昌彦	2025/5/30	64	五味 勝	2025/5/7	82	小口 哲男	2023/9/14
50	今井 隅田	2023/10/5	58	高橋 勇夫	2024/	64	清水 治弘	2022/8/26	82	土田 知明	2023/2/27
50	萩原 信幸	2021/4/24	58	中村 六郎	2026/3/11	64	白川 浩司	2024/12/8	82	宮坂 誠	2025/7/24
50	五味 隆俊	2025/3/12	58	藤森 康由	2025/11/26	64	土田 豊	2022/4/24	84	杉山 美貴	2024/11/11
50	鈴木 仁郎	2024/5/12	58	矢崎 晴信	2025/4/4	64	中山 巖	2025/3/1	84	花岡 正樹	2025/7/6
50	中村 脩一	2025/3/19	59	赤沼 光彦	2024/12/19	64	春日 敏	2020/1/10	85	鈴木 淳	2025/11/30
50	野沢 恵	2022/	59	河西 敏行	2021/10/	64	山崎 晃	2025/8/7			
51	後町 貞行	2025/11/17	59	金子 博厚	2024/11/30	65	朝倉 邦夫	2025/4/18			

事 務 局 だ よ り

急遽昨年の11月、事務局長、DX事務局長を同期のよしみで二人で受けることに役立ちました。それから慌しい7カ月、総会の開催に向けて事務局の役割を務めてきました。その中で、会報の発行と定期総会のディスカッションと懇親会の開催は、当番幹事の団結力と努力があってこそそのものだと感じています。この当番幹事という清陵同窓会の仕組みは、55歳という人生や仕事で重要な役割を担う油の乗った時期に、同期生が集い、清陵愛を再燃し、旧交を温め、絆を再確認できるよい機会になるのだと思います。よくでき

た仕組みだと改めて感じるとともに、これが同窓会を連綿と繋ぐ根底をなしていると思わずにいられません。93回生に深く感謝いたします。この歳になって母校に毎週足を運ぶことになるとは夢にも思ってもいませんでしたが、高校時代に思いを馳せながら少しの間お役に立ちたいと思っています。(河西)

◆事務局 原則勤務 月・木 9:00-12:00

TEL/FAX 0266-58-0356 E-mail dousoukai@suwaseiryo.jp

ホームページ <https://www.suwaseiryo.jp/>

事務局長 河西秀樹 (78回生) 携帯電話 080-5140-6230

DX 事務局長 岩波正恭 (78回生) 携帯電話 080-5108-0061

編 集 後 記

〽清陵出てから20年。今じゃ〜(清陵五万節)。実際は20年ではないが、この馴染み深い一節が会報制作中、何度も頭の中でリピートされていた。昨年度、母校は創立130周年という佳節を迎え、同窓の友は3万人を超えたという。そう思えば、この「今じゃ〜」からのフレーズは3万通り。それぞれの歩みに、それぞれの人生があり、感慨は尽きない。

振り返れば、我々93回生は、入学が昭和、卒業が平成。二つの時代をまたいで学び舎を巣立った世代である。加えて、入学時はボロボロ校舎、卒業時は新たな現校舎。古き伝統と新しき息吹、その双方を身をもって感じた、なかなか欲張りな学年かもしれない。

その我々が、この節目の年に幹事年を迎えられたことにも、浅からぬ縁を感じる。会報制作にあたり、諸先輩方、後輩の皆様、心強き同期の友、そして細部にまで心を尽くしてくださったヤジマブリント様には、感謝してもしきれない。会報制作も無事に結びを迎え、次はいよいよ記念の定期総会を迎える。

次なる節へ向け、それぞれの道を歩みながら、なお母校への思いを胸に。〽理想の花の咲かんまで。今じゃ、なお道半ばである。(93回生会報編纂チーム:雨宮伊織、小口信行、笠原弘章、柄澤美穂、北野正樹、田村裕子、日比勝彦、二見泰雄、溝口佳子、山田健一、吉川豪)

「三澤文庫と金子佳正先生」(93 回生 5 部担任)

文責：河西美奈子 (93 回生)



清陵高校の体育館の脇、校庭を見下ろす位置に「三澤文庫」(三澤先生記念文庫)が立っています。ご存じの通り、三澤勝衛先生は旧制諏訪中学校教諭で、地理学・天文学などの研究者、および教育者として著名な方です。

この文庫は先生のご遺族から同窓会に寄贈された先生の蔵書、論文集、資料を基本として、本校創立 70 周年にあたる昭和 40 (1965) 年に開設されたそうです。その後、校舎の全面改築時の昭和 62 (1987) 年に移転新築されました。

三澤勝衛先生の残した太陽観測のデータをまとめ、定年後に三澤文庫の整理、資料目録の作成を担ってこられたのが、地学の金子佳正先生でした。

金子先生は本校創立 110 周年にあたり、「三澤先生記念文庫運営委員会委員長」を務め、以下の点を整備しています(同窓会報第 32 号などを参照)。

- 1: 庫内環境の整備(除湿・暖房装置、情報機器導入)
- 2: 三澤勝衛先生の「太陽黒点観測結果」のデータベース化、「地理研究資料目録」のデータベース化
- 3: 三澤勝衛先生の論文、写真のデジタルアーカイブ化(photoshop による)

先生はこれらの成果物を、冊子や「三澤勝衛地理研究資料目録」DVD としてまとめています。三澤文庫で実際の資料を閲覧することができます。

書籍『三澤勝衛「風土産業」を読む』(志村明善編著、あざみ書房)では、金子先生が著者に三澤文庫の資料提供を行ったそうです。また近年、三澤勝衛や清陵高校天文気象部の活動は、長野県における「市民科学」の重要な事例として、論文や展示(左図)で取り上げられ、再び注目を集めています。これらの活動が継承され、再評価されるに至った背景には、金子先生の多大なご尽力があり、その意義は高く評価されています。

金子先生の退任以降、三澤文庫の運営は現状停止しているそうです。外部にも開かれた情報として、整備していく必要があるかもしれません。

[写真・資料協力 松井正英司書、
茅野市八ヶ岳総合博物館 渡辺真由子学芸員]



上の解説は、『企画展「観測者たちを夢中にさせる星々の魅力」ガイドブック』で見ることができます。

金子先生。共著『風土の発見と創造 4』を手に

創立130周年記念式典が盛大に

祝 創立130周年記念式典



旧制諏訪中学校・諏訪清陵高等学校



母校・諏訪清陵高校は、1895年（明治28年）4月25日に諏訪郡立実科中学校として創立されて以来、2025年（令和7年）に創立130周年の佳節を迎えました。

これを記念する式典が昨年10月18日、母校大体育館で開かれ、多くの来賓、同窓生、在校生、教職員、PTAなど合せて約1200人が出席しました。

同式典では、実行委員長の今井竜五同窓会長、倉澤克弥校長、両宮伊吹学友会長などがあいさつ。“日本一長い”とされる校歌を、心ひとつに高らかに歌い上げ、母校のさらなる飛躍を願いました。

続いて、元NTTデータ代表取締役社長の岩本敏男さん（74回生）が「過去、現在そして未来の『社会』と『人』と『清陵』」をテーマに記念講演。自らの経験を交えながら、社会の構造の変化を知り、様々な視点を持つことの大切さを強調。校是の「自反而縮雖千萬人吾往矣」を心に、未来を創ってほしいと期待を寄せられました。

また、同日夜、記念祝賀会がホテル紅やにて行われました。



岩本敏男さん（74回生）が記念講演



書道部が会場に彩りを添えた



記念祝賀会（ホテル紅やにて）